ONKYO®

FR-N9TX
（CD/MD チューナーアンプ）

X-N9TX
FR-N9TX（CD/MD チューナーアンプ）
D-N9TX（スピーカーシステム）

X-N7TX
FR-N7TX（CD/MD チューナーアンプ）
D-N7TX（スピーカーシステム）

取扱説明書

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

MDLP

Hi-MD AUDIO

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に
保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内
とともに大切に保管してください。

目次

基 本 編

応　用　編

接続

音の調整

MD グループ機能

編集と消去

時計とタイマー

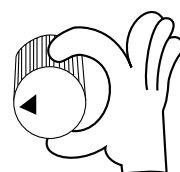
その他

主な特長

- ■ Hi-MD 対応
- ■ 高速演算 ATRAC 搭載
- ■ 多彩な録音モード、PCM、Hi-LP、Hi-SP、SP、LP2、LP4、Mono（モノ）に対応
- ■ たくさん入った曲を整理する MD グループ機能
- ■ MD ネーム入力をさらに快適にするネームコピー機能
- ■ CD から MD への録音レベルを自動設定する DLA Link（リンク）（Digital（デジタル） Rec（レック） Level（レベル） Adjustment（アジャストメント））機能
- ■ CD → MD 倍速ダビング機能
- ■ 音楽用 CD-R、CD-RW 再生に対応[※1]
- ■ FM オートプリセット可能。30 局メモリー可能なチューナー搭載
- ■ デジタル録音時のレベル調整ができるデジタル録音ボリューム搭載
- ■ 次世代メディアの実力を引き出す超ワイドレンジアンプテクノロジー WRAT（Wide（ワイド） Range（レンジ） Amplifier（アンプリファイヤー） Technology（テクノロジー））
- ■ 重低音の調整ができる S.BASS（スーパーバス）機能、低音や高音を調整できる TONE（トーン）機能
- ■ 充実した外部入出力端子〔DOCK（ドック）/CD-R（DOCK）、TAPE（テープ）、LINE（ライン）〕
- ■ 光デジタル端子装備（入力× 1）（FR-N9TX のみ、出力× 1）
- ■ 衛星放送などからのリニア PCM デジタル音声信号も録音できるサンプリングレートコンバーター搭載

※ 1PCM フォーマットで録音された音楽用 CD-R/RW で、ファイナライズ済のディスク。ただし、傷、汚れ、録音状態によっては、再生できないことがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

箱の中身を確かめる

お買い上げいただいた製品によって、箱に入っているものの組み合わせが異なります。品番をお確かめの上、下記の製品および付属品が入っているかご確認ください。

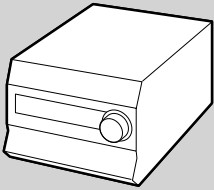
X-N9TX には、次のものが含まれます。
- FR-N9TX（CD/MD チューナーアンプ）● D-N9TX（スピーカーシステム）

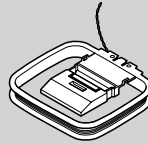
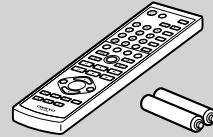
X-N7TX には、次のものが含まれます。
- FR-N7TX（CD/MD チューナーアンプ）● D-N7TX（スピーカーシステム）

FR-N9TX は CD/MD チューナーアンプの単品です。
- スピーカーシステムは、含まれません。

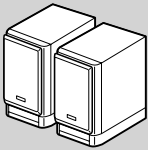
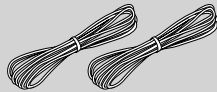
（　）内の数字は数量を表しています。お確かめください。

FR-N9TX、FR-N7TX（CD/MD チューナーアンプ）

●製品本体（1）

● FM 室内アンテナ（1）
FM 放送を受信するアンテナです。

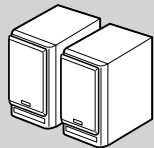
● AM 室内アンテナ（1）
AM 放送を受信するアンテナです。

●リモコン－ RC-659S（1）
●単 3 乾電池（2）

●取扱説明書（本書 1）●簡単操作ガイド（1）●保証書（1）●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）
●ユーザー登録カード（1）

D-N9TX（スピーカーシステム）

●製品本体（2）

●スピーカーコード 1.8 m（2）

●スピーカー用コルクスペーサー（8）

D-N7TX（スピーカーシステム）

●製品本体（2）

●スピーカーコード 1.8 m（2）

●スピーカー用コルクスペーサー（8）

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⊘記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠ 警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 製品を落としてしまった
- 製品内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

CD/MD チューナーアンプには内部の温度上昇を防ぐため、ケースの天面や底面に通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となります。

- CD/MD チューナーアンプを押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
  （CD/MD チューナーアンプの天面、背面から 10cm 以上、横から 2cm 以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、製品の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

製品に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 製品の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが製品の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠ 警告

使用上のご注意

■CD/MD チューナーアンプ内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- CD/MD チューナーアンプの通風孔、ディスク挿入口から異物を入れない
- CD/MD チューナーアンプの上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ディスク挿入口に手を入れない

指のけが
に注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■雷が鳴りだしたら製品、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
また、強度の足りない壁や天井に取り付けないでください。
製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する

必ずする

製品を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

CD/MD チューナーアンプの通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■製品の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

製品の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
サランネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■機器内部の点検について

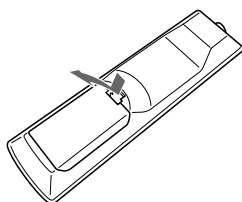
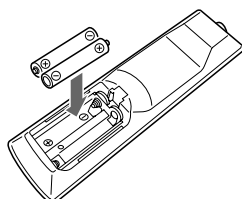
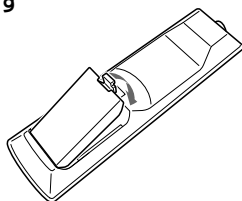
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■製品のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

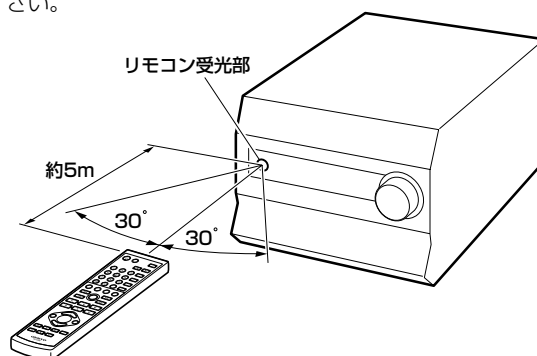
リモコンを準備する

乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向に持ち上げる

2. 中の極性表示にしたがって付属の乾電池 2 個をプラス ⊕ とマイナス ⊖ を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意

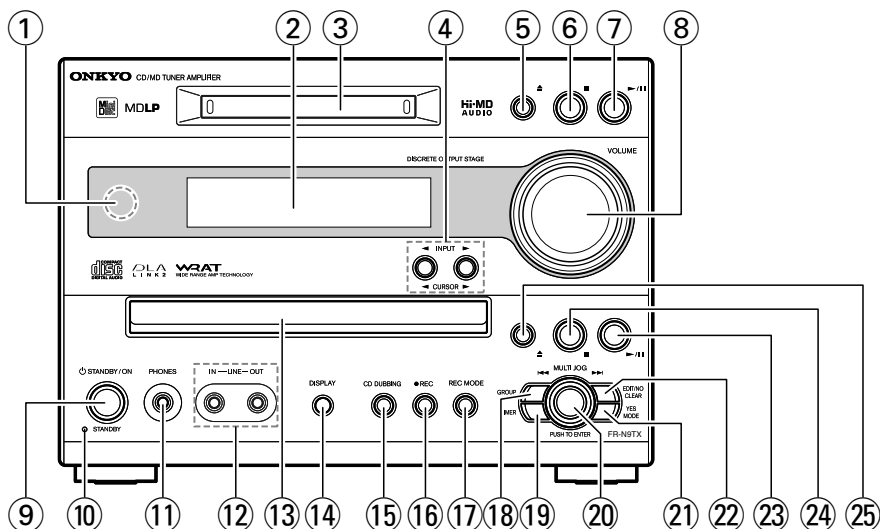
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して 2 本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単 3 形をご使用ください。

リモコンの使いかた

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

各部の名前と主な働き

前面パネル 〔 〕内のページに主な説明があります。

① **リモコン受光部**〔9〕
リモコンからの信号を受信します。

② **表示部**
次ページをご覧ください。

③ **MD 挿入部**〔26、38〕
MD を挿入します。

④ **INPUT◀/▶、CURSOR◀/▶ ボタン**〔23、32、73〕
聞くソースを選びます。
文字入力時、文字の挿入、訂正、消去に使います。

⑤ **MD▲ ボタン**〔26〕
MD を取り出します。

⑥ **MD ■ボタン**〔26〕
再生や録音を停止します。

⑦ **MD▶/❚❚ ボタン**〔26〕
再生や録音（録音待機状態から）を始めます。
再生中に押すと一時停止状態になります。

⑧ **VOLUME つまみ**〔23〕
音量を調節します。

⑨ **STANDBY/ON ボタン**〔23、71〕
電源のスタンバイ / オンを切り換えます。

⑩ **STANDBY インジケーター**〔23〕
スタンバイ状態のとき点灯します。

⑪ **PHONES 端子**〔23〕
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

⑫ **LINE（IN/OUT）端子**〔22〕
メモリープレーヤーなどのポータブル機器を接続します。

⑬ **CD トレイ**〔24〕
CD をセットします。

⑭ **DISPLAY ボタン**〔25、27、34、40、41、63〕
表示部の情報を切り換えます。
文字入力時、文字の種類を選べます。

⑮ **CD DUBBING ボタン**〔40、41〕
CD ダビングを開始します。2 回押すと CD 倍速ダビングを開始します。

⑯ **●REC ボタン**〔43 ～ 45〕
MD を録音待機状態にします。

⑰ **REC MODE ボタン**〔46〕
録音モードを設定します。

⑱ **GROUP ボタン**〔50、51、53 ～ 56〕
グループを選択するときに押します。

⑲ **TIMER ボタン**〔66、68、69、72〕
現在時刻やタイマーの設定を行います。

⑳ **MULTI JOG ダイヤル**〔24、26、32〕
登録した放送局や CD または MD の再生する曲を選びます。編集時、項目の選択をします。押すと各設定を確定します。

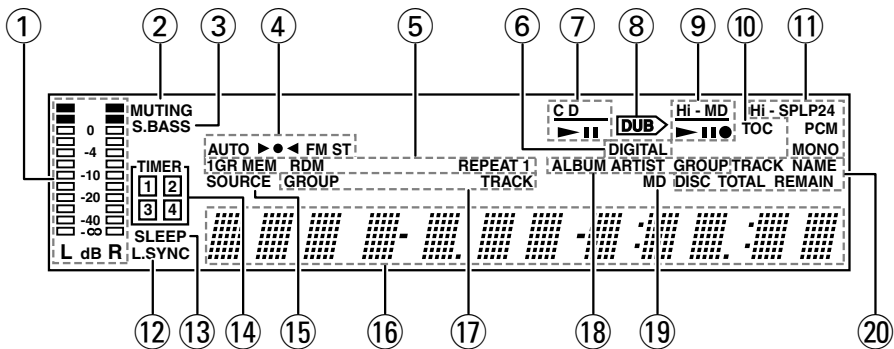
㉑ **YES/MODE ボタン**〔28、29、33、34、63〕
録音、再生、設定などで選択した項目を決定します。
メモリー再生やランダム再生を設定します。

㉒ **EDIT/NO/CLEAR ボタン**
〔32、33、35、38、46 ～ 49、52 ～ 62、73〕
設定や編集操作の内容を選びます。
設定中は表示された内容を取り消します。

㉓ **CD▶/❚❚ ボタン**〔24〕
再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。

㉔ **CD ■ボタン**〔24〕
再生を停止します。

㉕ **CD▲ ボタン**〔24〕
CD トレイを開閉します。

表示部

① **レベル表示**
音声レベルを表示します。

② **MUTING（ミューティング）表示**
ミューティングが働いているときに点滅します。

③ **S.BASS（スーパーバス）表示**
スーパーバス設定時に点灯します。

④ **FM/AM 受信情報**
FM/AM 受信時の情報を知らせます。

⑤ **再生モード表示**
1GR（グループ）：1 グループ再生時に点灯します。
MEM（メモリー）：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RDM（ランダム）：ランダム再生時に点灯します。
REPEAT（リピート）：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1：1 曲リピート再生時に点灯します。

⑥ **DIGITAL（デジタル）表示**
録音するソースがデジタル入力録音時に点灯します。

⑦ **CD 再生表示**
CD の再生状態を表示します。

⑧ **DUB（ダビング）表示**
CD ダビング時に点灯します。

⑨ **MD/Hi-MD 再生、録音表示**
MD/Hi-MD 再生、録音状態を表示します。
- Hi-MD モードの MD が挿入されたきは、Hi-MD 表示が点灯します。

⑩ **TOC（トック）表示**
録音や編集など、MD に情報を書き込むときに、点灯や点滅します。

⑪ **録音モード表示**
再生や録音するモードが点灯します。

⑫ **L.SYNC（レベルシンク）表示**
レベルシンクが働いているときに点灯します。

⑬ **SLEEP（スリープ）表示**
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

⑭ **TIMER（タイマー）表示**
タイマーのセット状態を表示します。
□：タイマー録音設定時に点灯します。
数字：タイマー 1 ～ 4 設定時に点灯します。

⑮ **SOURCE（ソース）表示**
録音しているときに点灯し、多目的表示部にはソース名が表示されます。

⑯ **多目的表示部**
再生時間や名前などを表示します。

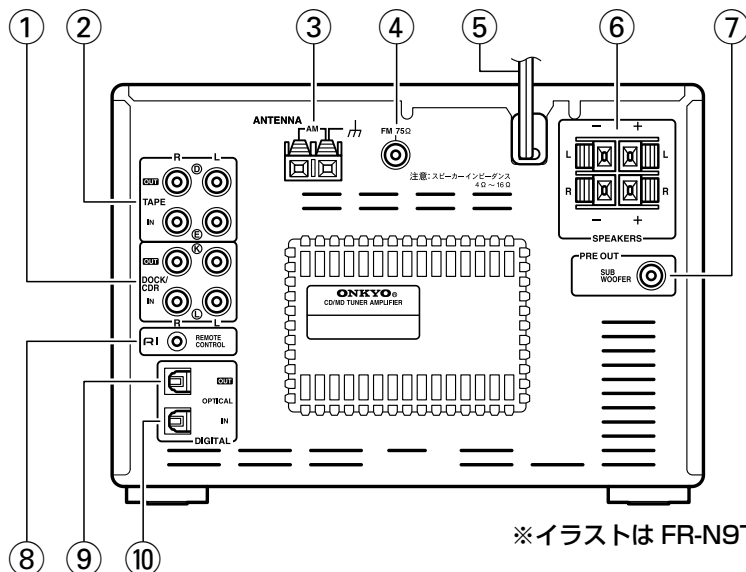
⑰ **GROUP（グループ）/TRACK（トラック）表示**
GROUP（グループ）：グループ数が表示されているときに点灯します。
TRACK（トラック）：トラック数が表示されているときに点灯します。

⑱ **ALBUM（アルバム）/ARTIST（アーティスト）/GROUP（グループ）表示**
アルバム名、アーティスト名、グループ名が表示されているときに点灯します。

⑲ **MD 表示**
録音中、表示を MD にすると点灯します。

⑳ **CD/MD 情報**
多目的表示部に表示されている項目が点灯します。

各部の名前と主な働き

後面パネル

※イラストは FR-N9TX です。

① DOCK/CDR IN/OUT 端子（FR-N9TX）
DOCK IN/OUT 端子（FR-N7TX）
オンキヨー製 RI ドック（リモートインタラクティブドック）を接続する端子です。IN 端子に接続します。CD レコーダーや録音機器を接続することもできます。

② TAPE IN/OUT 端子
テープデッキを接続する端子です。

③ ANTENNA（AM）端子
付属の AM 室内アンテナを接続する端子です。

④ ANTENNA（FM75 Ω）端子
付属の FM 室内アンテナまたは、FM 屋外アンテナを接続する端子です。

⑤ 電源コード

⑥ SPEAKERS 端子
付属のスピーカーを接続する端子です。

⑦ PRE OUT 端子
アンプ内蔵のサブウーファーを接続する端子です。

⑧ RI REMOTE CONTROL 端子
RI端子付きのオンキヨー機器と接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

⑨ DIGITAL OUT 端子（FR-N9TXのみ）
光デジタル音声の出力端子です。
デジタル入力端子付きの CD レコーダーなどを接続します。PCM 信号に対応しています。
接続には、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

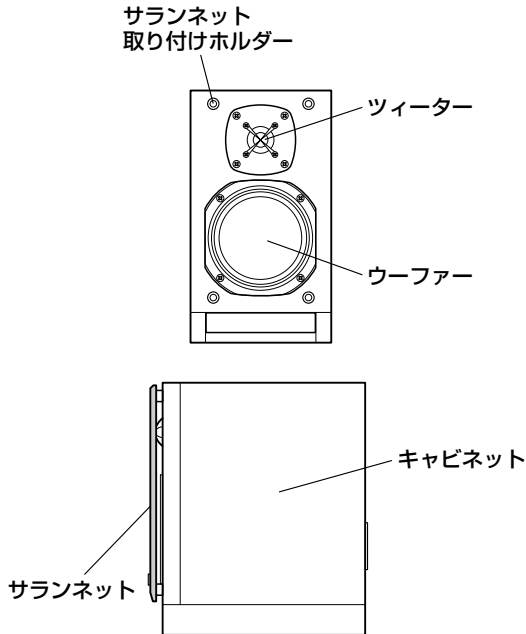
⑩ DIGITAL IN 端子
光デジタル音声の入力端子です。
デジタル出力端子付きのゲーム機、BS チューナーなどと接続します。PCM 信号に対応しています。
接続には、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

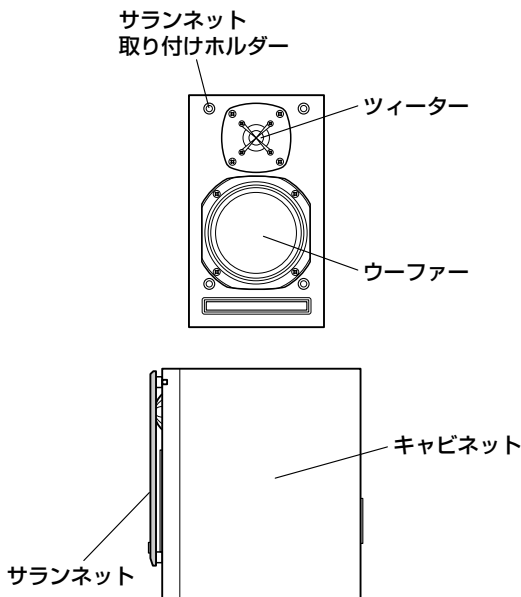
接続については、17 ～ 22 ページをご覧ください。

スピーカー

D-N9TX、D-N7TX は左側スピーカーと右側スピーカーの形は同じです。どちらを左側 / 右側で使用しても音質は変わりません。

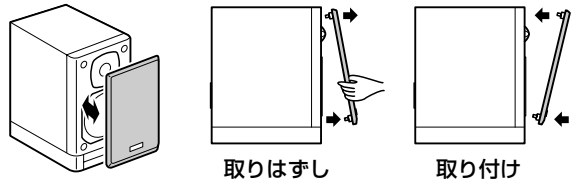
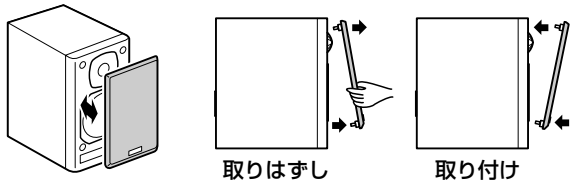
● D-N9TX

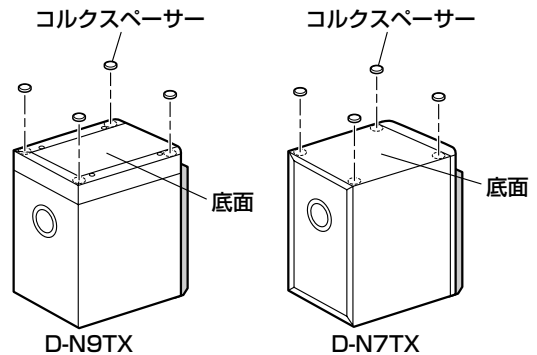
「X-N9TX」にはスピーカー「D-N9TX」が付属しています。

● D-N7TX

「X-N7TX」にはスピーカー「D-N7TX」が付属しています。

サランネットの脱着について

D-N9TX、D-N7TX は前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にあるピンを本体のサランネット取り付けホルダーに合わせて押し込みます。

● D-N9TX

● D-N7TX

付属のコルクスペーサーを使う

より良い音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。また、コルクスペーサーを使用することで、すべりにくく安定して設置することができます。

各部の名前と主な働き

リモコン（アンプ、チューナー）

ここでは、アンプ操作やチューナー操作をするときに使用するボタンについて説明します。

SLEEPボタン
スリープタイマーの設定に使用します。

STANDBY/ONボタン
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

文字、記号、アルファベット、数字ボタン
ラジオのプリセット局に文字を入れるときに使用します。

TIMERボタン
現在時刻やタイマーの設定を行います。

EDIT/NO/CLEARボタン
設定や編集操作の内容を選びます。設定中は表示された内容を取り消します。

⏮/⏭ボタン
ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。設定時は項目を選びます。

ENTERボタン
編集や各設定で項目の確定をします。

◀◀/▶▶ボタン
文字入力時、カーソル移動をします。また、ラジオを聞いているときは、周波数の選択にも使用します。

S.BASSボタン
重低音を強調します。

CLOCK CALLボタン
時刻を表示させるときに押します。

INPUT ◀/▶ ボタン
押すごとに入力が切り換わります。

NAMEボタン
文字入力をするときに使用します。

DISPLAYボタン
押すたびに表示部の情報が切り換わります。文字入力時、文字の種類を選びます。

TONEボタン
低音、高音を調整します。

YES/MODE/SHUFFLEボタン
FM/AM放送受信時、チューニングモードのオート/マニュアルを切り換えます。

MUTINGボタン
音を一時的に小さくします。

VOLUME▲/▼ボタン
音量を調節します。

FM/AMボタン
入力をFMまたはAMに切り換えます。

リモコン（MD）

ここでは、MD を操作するときに使用するボタンについて説明します。

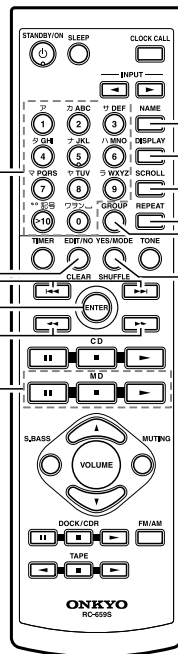
文字、記号、アルファベット、数字ボタン
ディスク名や曲名など文字入力時に使用します。また、選曲したり、メモリー再生時に曲順を指定するときにも使用します。

EDIT/NO/CLEARボタン
設定や編集操作の内容を選びます。設定中は表示された内容を取り消します。

⏮/⏭ボタン
前後の曲を選ぶことができます。押すたびに前または後に曲番がスキップします。

ENTERボタン
編集や各設定で項目の確定をします。

◀◀/▶▶ ボタン
再生中の曲を早送りしたり、早戻しすることができます。文字入力時、カーソル移動にも使用します。

MD操作ボタン
❚❚：再生を一時停止します。
■：再生を停止します。
▶：再生、録音（録音待機状態から）を始めます。

NAMEボタン
文字を入力するときに使用します。

DISPLAYボタン
押すたびに表示部の情報が切り換わります。文字入力時、文字の種類を選びます。

SCROLLボタン
表示部に表示された文字を移動表示します。文字入力時、文字の種類を選べます。

REPEATボタン
くり返し再生します。

GROUPボタン
グループ選択、グループ再生をするときに使用します。

YES/MODE/SHUFFLEボタン
録音、再生、設定などで、選択した項目を決定します。メモリー再生やランダム再生を設定します。

リモコン（CD）

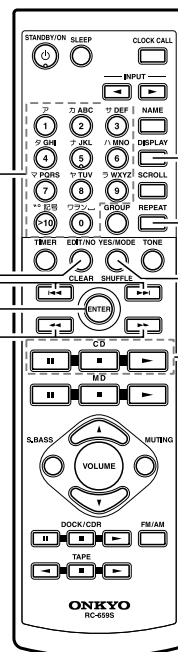
ここでは、CD を操作するときに使用するボタンについて説明します。

文字、記号、アルファベット、数字ボタン
選曲したり、メモリー再生時に曲順を指定するときに使用します。

EDIT/NO/CLEARボタン
メモリー再生などで表示された内容を取り消します。

⏮/⏭ボタン
前後の曲を選ぶことができます。押すたびに前または後に曲番がスキップします。

ENTERボタン
選択した内容を決定します。

◀◀/▶▶ ボタン
再生中の曲を早送りしたり、早戻しすることができます。

DISPLAYボタン
押すたびに表示部の内容が切り換わります。

REPEATボタン
くり返し再生します。

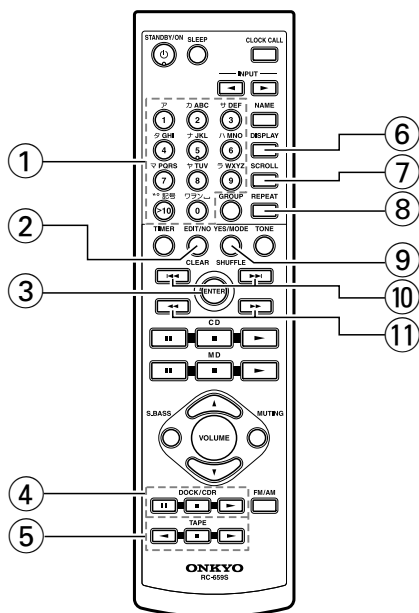
YES/MODE/SHUFFLEボタン
メモリー再生やランダム再生を設定します。

CD操作ボタン
❚❚：再生を一時停止します。
■：再生を停止します。
▶：再生を始めます。

各部の名前と主な働き

リモコン（その他）

ここでは、TAPE IN/OUT 端子や DOCK/CDR(DOCK) IN/OUT 端子、DIGITAL IN 端子に接続した機器が、オンキヨー製カセットデッキ、RI ドック、CD レコーダーのときに使用できるボタンについて説明します。

- 機器の接続については、20、21 ページをご覧ください。
- また、接続した機器に合わせて、入力の表示名称を変更する必要があります。73 ページをご覧ください。

例：⑨ の YES/MODE/SHUFFLE ボタンの場合

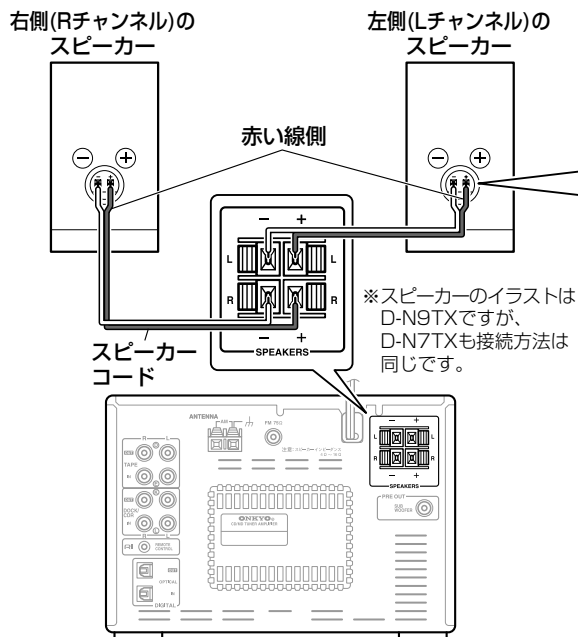
- TAPE IN/OUT 端子にカセットテープデッキを接続して入力名称を「TAPE」にしたときは、DOLBY NR ボタンとして働きます。
- DOCK/CDR（DOCK）IN/OUT 端子に CD レコーダーを接続して入力名称を「DOCK」にしたときは、SHUFFLE ボタンとして働き、「CD-R」にしたときは、MODE ボタンとして働きます。
  DIGITAL IN 端子に CD レコーダーを接続して入力名称を「CD-R：dig」にしたときも同様です。

	接続端子	TAPE	DOCK/CDR（DOCK）		DIGITAL IN
	リモコンのボタン名 ＼ 入力名称	TAPE	DOCK	CD-R	CD-R
①	1～9			1～9	1～9
	0			10/0	10/0
	＞10			＞10	＞10
②	EDIT/NO/CLEAR		MODE	CLEAR	CLEAR
③	ENTER		SELECT	ENTER	ENTER
④	DOCK/CDR ►		►	►	►
	DOCK/CDR ■		■	■	■
	DOCK/CDR II		II	II	II
⑤	TAPE ►	►			
	TAPE ■	■			
	TAPE ◄	◄			
⑥	DISPLAY		BACKLIGHT	DISPLAY	DISPLAY
⑦	SCROLL			SCROLL	SCROLL
⑧	REPEAT	REV MODE	REPEAT	REPEAT	REPEAT
⑨	YES/MODE/SHUFFLE	DOLBY NR	SHUFFLE*	MODE	MODE
⑩	⏮/⏭	◄◄/►►	⏮/⏭	⏮/⏭	⏮/⏭
⑪	◄◄/►►		◄◄/►►	◄◄/►►	◄◄/►►

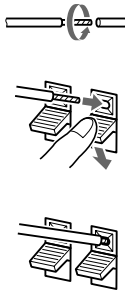
- それぞれのボタンの働きについての詳細は、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 空欄はボタンを押しても動作しません。
- ＊プレイリストやアルバムリスト表示のときは、SHUFFLE On/Off として働きます。カーソルモードでは MENU ボタンとして働きます。

接続する

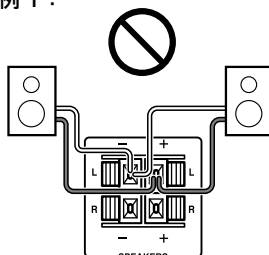
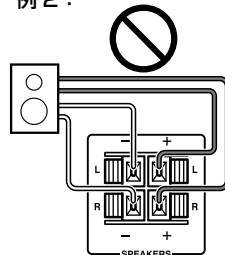
スピーカーを接続する

※スピーカーのイラストはD-N9TXですが、D-N7TXも接続方法は同じです。

1.ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線部をよじります。

2.スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
しん線がわずかに外に出ているようにしてください。

3.スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

- スピーカーはインピーダンスが4Ω（オーム）～16Ωのものを接続してください。4Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
- スピーカーの（＋）と本体の（＋）を、スピーカーの（－）と本体の（－）を接続します。付属のスピーカーコードの赤い線の方を（＋）側に接続してください。
- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続（例1）したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列して接続（例2）しないでください。故障の原因になります。

- 故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線どうしや後面パネルに絶対に接触させないでください。
- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。

例1：

例2：

スピーカーの設置について

スピーカーの音質は、設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音を楽しんでいただくために、次のことにご注意ください。

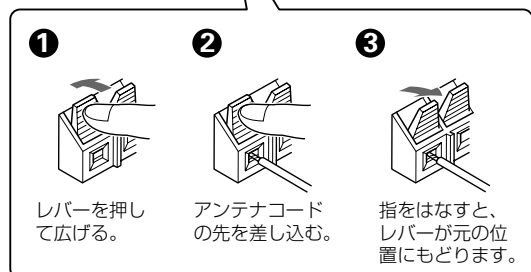
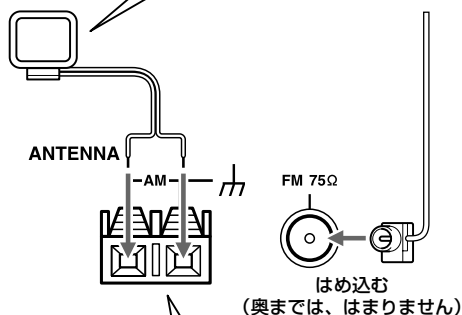
- スピーカーを床に直接置くと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。スピーカースタンドまたはブロック、レンガ、堅い棚等の上に置くようにしてください。
- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、良い結果になります。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

ご注意

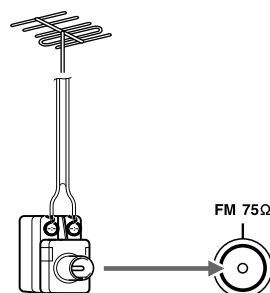
- スピーカーのキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。

ラジオのアンテナを接続する

付属のFM/AMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。（☞31 ページ）

！ヒント

AM アンテナのコードは、分岐した先端を左右端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように、左右や＋ / －などの区別はありません。）

FM屋外アンテナを接続する

FM 屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

！ヒント

- 建物の陰にならず、FM 放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

ご注意

送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。

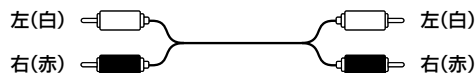
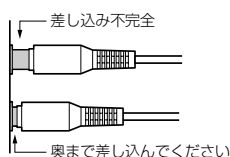
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

外部機器を接続する

接続の前に

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いプラグ(R の表示)を右チャンネル､白いプラグ(L の表示）を左チャンネルに接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは、本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

光デジタル入力端子 / 出力端子について

本機の光デジタル入出力端子は、すべてとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。

光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

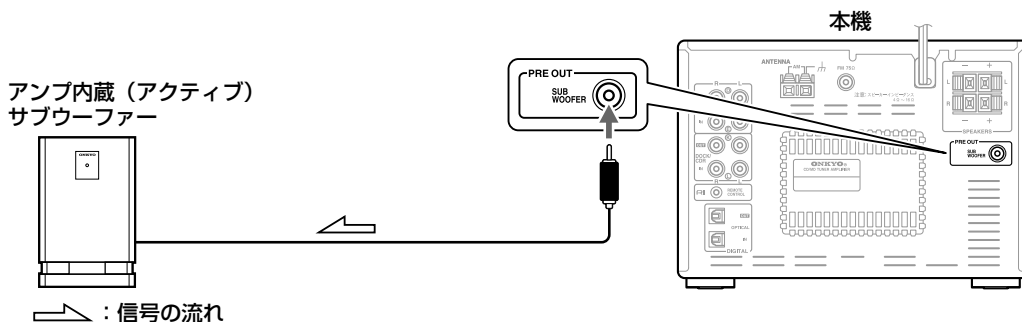
設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて危険です。

音声ケーブルと端子の種類について

本機にケーブルは付属していません。

ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
光デジタルケーブル（OPTICAL（オプティカル））		OPTICAL	デジタル信号を伝送します。
オーディオ用ピンコード		AUDIO R L	アナログ音声を伝送します。
ステレオミニジャックケーブル		IN — LINE — OUT	アナログステレオ音声を伝送します。

サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトですので、サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を接続してください。

外部機器を接続する

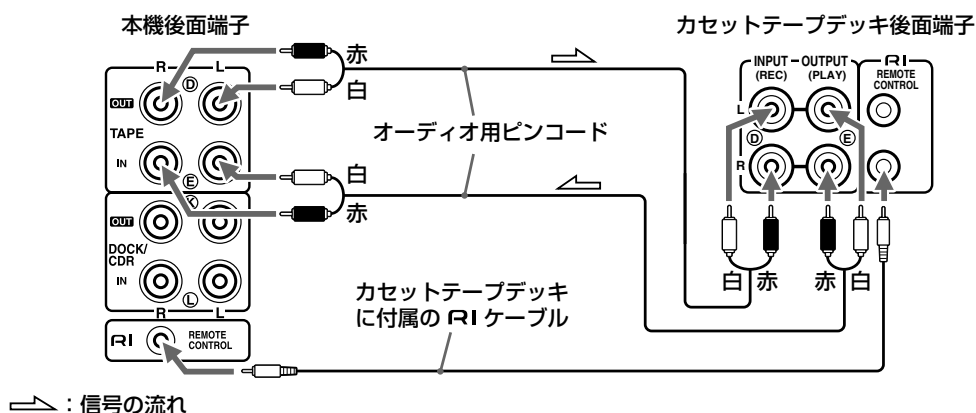
カセットテープデッキを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製カセットテープデッキとの接続例です。）

■オンキヨー製カセットテープデッキとの接続

本機のTAPE OUT端子 Ⓓ とカセットテープデッキのIN端子 Ⓓ を接続してください。
本機のTAPE IN端子 Ⓔ とカセットテープデッキのOUT端子 Ⓔ をそれぞれ接続してください。

- 外部入力の表示名称を「TAPE」にする必要があります。（お買い上げ時の設定は「TAPE」ですので、そのままお使いください。）

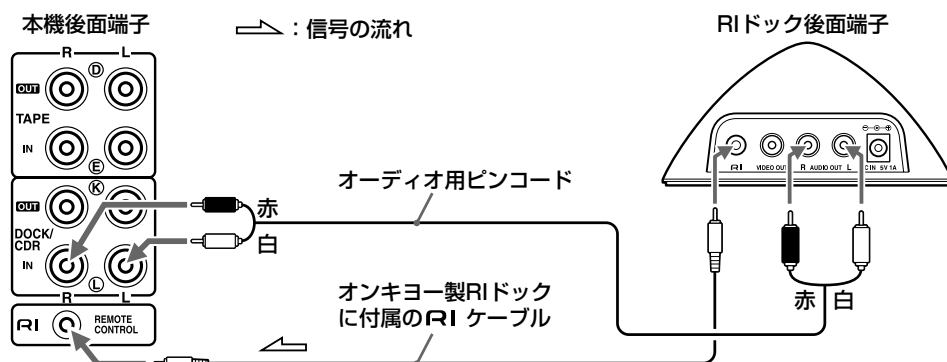
RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- システム録音操作ができます。（☞44ページ）

■その他のカセットテープデッキと接続する場合

本機のTAPE OUT端子 Ⓓ とカセットテープデッキの音声入力端子、本機のTAPE IN端子 Ⓔ とカセットテープデッキの音声出力端子をそれぞれ接続してください。

リモートインタラクティブドック(RI ドック)を接続する

DS-A1XなどのオンキヨーRIドックを本機と接続します。
本機のDOCK/CDR IN端子（FR-N7TXはDOCK IN端子）とRIドックの音声出力端子を接続してください。

- 外部入力の表示名称を「DOCK」にする必要があります。（☞73ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっていますので、そのままお使いください。）また、RIドックのMODEスイッチを「HDD/DOCK」にしてください。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製RIドックを操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- オンキヨー製RIドックの再生をすると、本機の入力が自動的に「DOCK」に切り換わります。

CDレコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製CDレコーダーとの接続例です。）

■オンキヨー製 CD レコーダーとの接続

本機の DOCK/CDR OUT（FR-N7TX では DOCK OUT）端子 Ⓚ と CD レコーダーの IN（REC）端子 Ⓚ を接続してください。

本機の DOCK/CDR IN（FR-N7TX では DOCK IN）端子 Ⓛ と CD レコーダーの OUT（PLAY）端子 Ⓛ を接続してください。

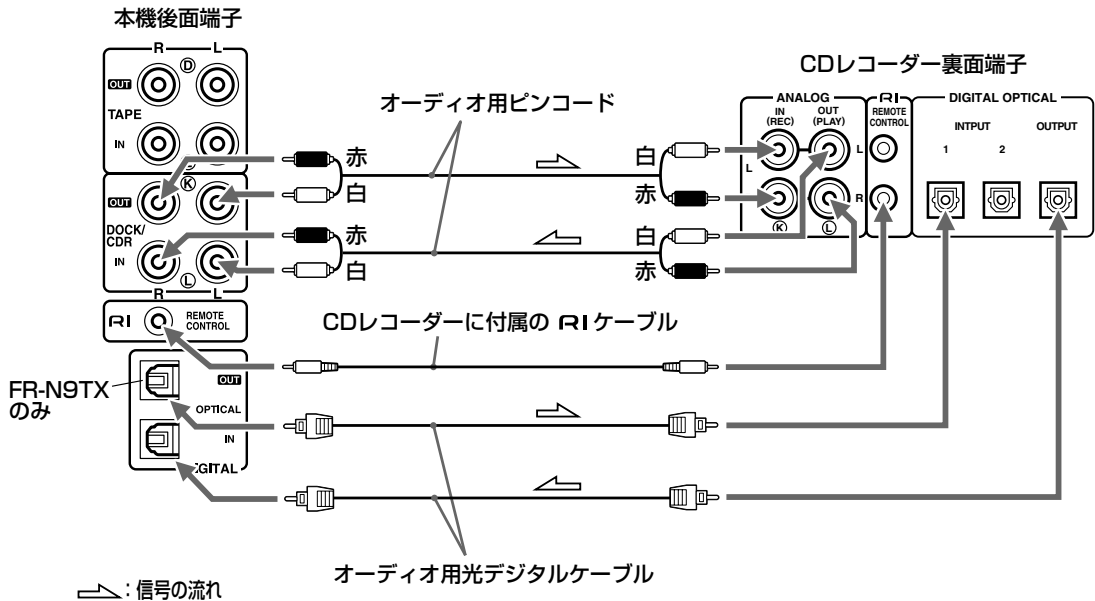
• 外部入力の表示名称を「CD-R」にする必要があります。（☞73 ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっています。）

本機の DIGITAL IN 端子と CD レコーダーの DIGITAL OUT 端子を、オーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。

• 外部入力の表示名称を「CD-R/dig」にする必要があります。（☞73 ページ。お買い上げ時の設定は「DIGITAL」になっています。）

（FR-N9TX のみ）本機から CD レコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機の DIGITAL OUT 端子と CD レコーダーの DIGITAL INPUT1 端子を接続します。

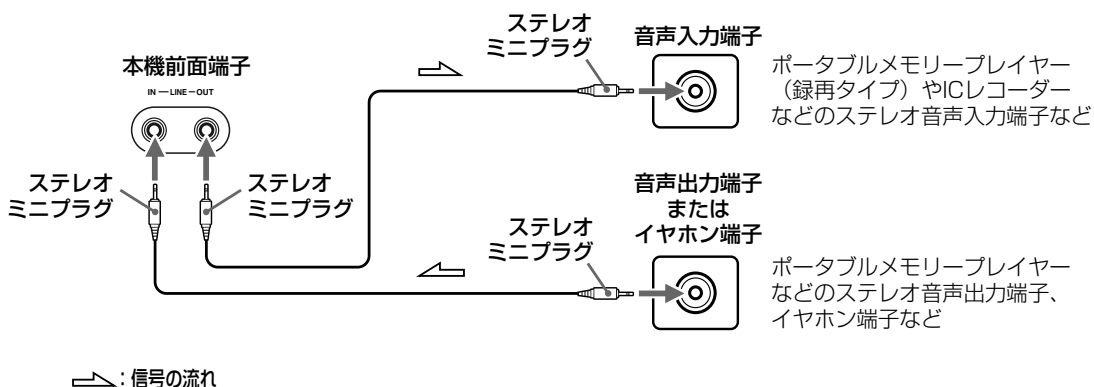
RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）

• 本機付属のリモコンでオンキヨー製 CD レコーダーも操作できます。ただし、CD レコーダーを DIGITAL 端子のみで接続している場合は、リモコン操作はできません。たとえば、DOCK/CDR IN 端子（FR-N7TX の場合は DOCK IN 端子）に RI ドックを接続し、CD レコーダーを DIGITAL IN 端子に接続している場合など、CD レコーダーはリモコン操作できません。
• 本機に CD レコーダーとカセットテープデッキを接続する場合は、両機器間のRI端子も接続してください。
• オンキヨー製 CD レコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的に CD-R に切り換わります。
  デジタル接続している場合は、「CD-R/dig」に切り換わります。
• システム録音操作ができます。

■その他の CD レコーダーと接続する場合

本機の DOCK/CDR OUT（FR-N7TX では DOCK OUT）端子 Ⓚ と CD レコーダーの音声入力端子、本機の DOCK/CDR IN（FR-N7TX では DOCK IN）端子 Ⓛ と CD レコーダーの音声出力端子をそれぞれ接続してください。
（FR-N9TX のみ）本機から CD レコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機の DIGITAL OUT 端子と CD レコーダーのデジタル入力端子を接続します。

外部機器を接続する

ポータブルオーディオ機器を接続する

本機前面のLINE IN/OUT端子はポータブルオーディオ機器を接続するのに便利です。
LINE IN端子には、ポータブルオーディオ機器（メモリープレーヤー、MDプレーヤー、CDプレーヤーなどの再生機器）を接続します。
LINE OUT端子には、ポータブルメモリープレーヤー（録再タイプ）やICレコーダーなどを接続し、本機で再生した音を録音することができます。
接続する機器側の端子形状によっては、使用するケーブルを別途購入する必要があります。本機のLINE IN/OUT端子は、ステレオミニプラグに対応しています。

ご注意

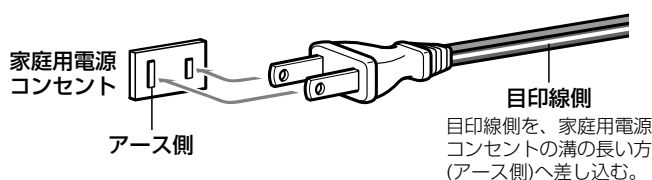
- 接続用のケーブルには、抵抗入りではないものをご使用ください。
- 本機のLINE OUT端子から他機へ録音する場合、音量は一定となります。録音先の機器で録音レベルを調整してください。
- 録音後の音質は、録音元とは異なる場合があります。
- 本機のLINE IN端子へ他機のイヤホン端子を接続する場合は、あらかじめ接続する機器側の音量を調整しておいてください。
- LINE IN端子へ接続する場合、となりのPHONES端子へ誤って接続しないようご注意ください。間違って接続すると、PHONES端子の故障の原因となります。

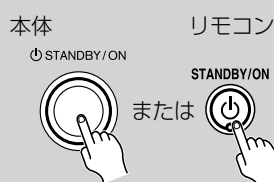
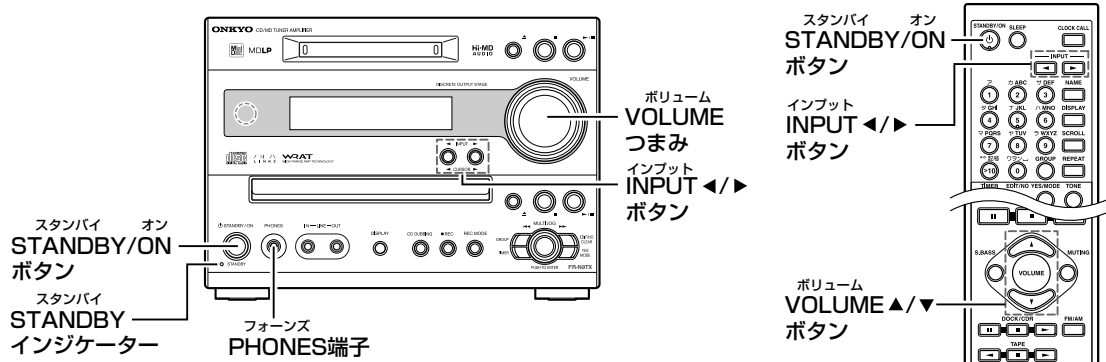
電源コードを接続する

すべての接続が完了していることを確認してください。
電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態となり、STANDBYインジケーターが点灯します。

より良い音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの片側に目印線の入っている側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

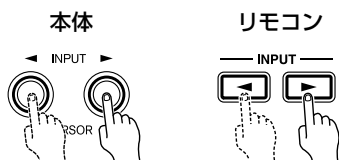
例：

基本の操作を理解する

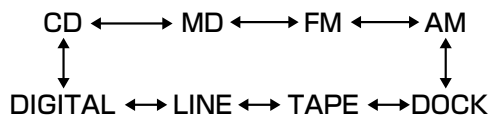
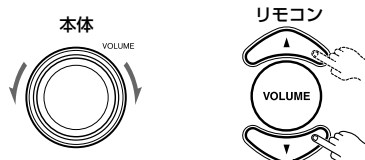
電源を入れる

本体またはリモコンの STANDBY/ON ボタンを押す

STANDBY インジケーターが消灯して電源が入ります。スタンバイ状態に戻すには、同じボタンをもう一度押します。

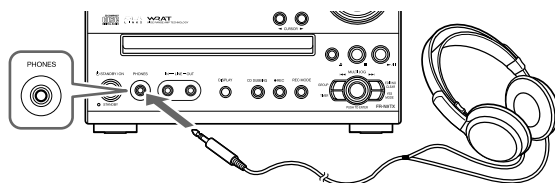
！ヒント

本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製 RI ドックや CD レコーダー、カセットテープデッキの電源を入れたり再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機のスタンバイとオンを切り換えると、接続されているこれらの機器の電源が入ったり、スタンバイ状態になります。

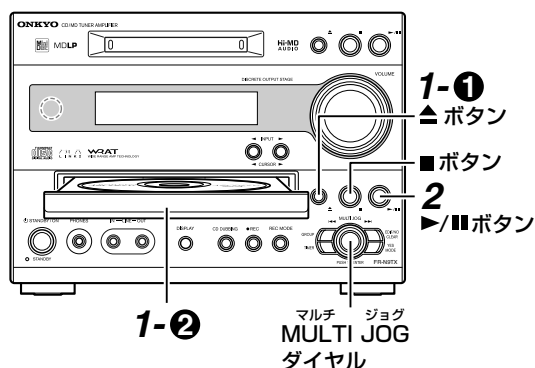
入力を切り換える

本体またはリモコンの INPUT◀/▶ ボタンを押して切り換える

CD、MD、FM 放送、AM 放送、接続した外部機器から選べます。ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。

音量を調節する

本体の VOLUME つまみを回すか、リモコンの VOLUME ▲ / ▼ボタンを押す

ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグを PHONES 端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

ご注意

PHONES 端子に誤って他の機器の音声出力信号を接続すると故障の原因となります。となりの LINE IN 端子へ接続するケーブルを間違って PHONES 端子へ差し込まないよう、ご注意ください。

CDを聞く

操作の前に
電源を入れてください。

1 （CD 側）

CD をセットする

❶CD の▲（オープン/クローズ）ボタン押して、トレイを開く

❷CD をトレイに置く

レーベル面を上にしてトレイの上に置きます。
8cmCD のときは、内側のくぼみの中に置きます。

！ヒント

スタンバイ状態のときに CD の▲（オープン/クローズ）ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

2 （CD 側）

CD の►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

トレイが閉まって再生が始まります。

聞きたい曲を選ぶ

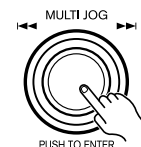
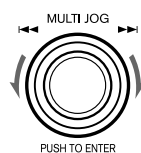
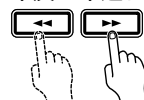
- 再生中に MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを左に回すと再生中の曲の頭に戻り、さらに回すと 1 曲ずつ前に戻ります。右に回すと 1 曲ずつ次へ進みます。
  停止中は左に回すと1曲ずつ前の曲に戻り、右に回すと 1 曲ずつ次の曲に進みます。
  リモコンでは、再生中に ❙◀◀ ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと 1 曲ずつ前に戻ります。停止中は ❙◀◀ ボタンを押すと 1 曲ずつ前の曲に戻り、▶▶❙ ボタンを押すと 1 曲ずつ次の曲に進みます。

- 停止中は MULTI JOG ダイヤルを押すと、再生が始まります。再生中に MULTI JOG ダイヤルを押すと、1 曲ずつ次の曲に進みます。

リモコンで早戻し / 早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。

一時停止する

CD の►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

表示部に ❚❚ 表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

CD の■（ストップ）ボタンを押す

CDを取り出す

CD の▲（オープ/ンクローズ）ボタンを押してトレイを開ける

リモコンで操作する

CDを選ぶ

数字ボタン

選曲して再生する

⓪ ボタン :10または0を選びます。

>10 ボタン : 2桁以上の曲を選びます。

例） 曲番	押すボタン
8	8
10	0
34	>10、3、4

11曲目以降を再生するときは、>10 を押してから選曲します。

再生を一時停止する

もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

表示部の情報を切り換える

DISPLAYボタンを押します。

聞きたい曲を選ぶ

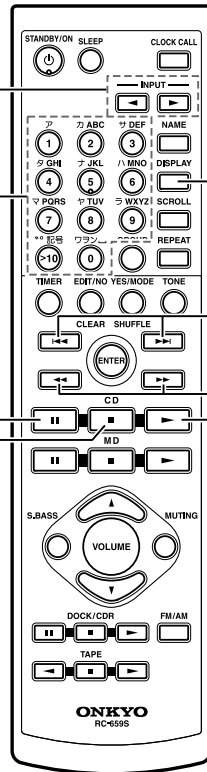
※ 再生中、一時停止中に⏮ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに１つ前の曲になります。

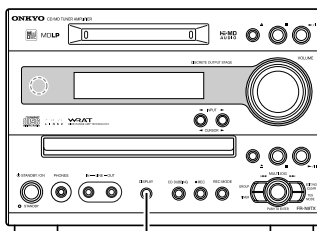
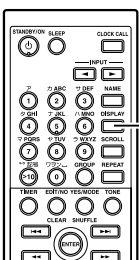
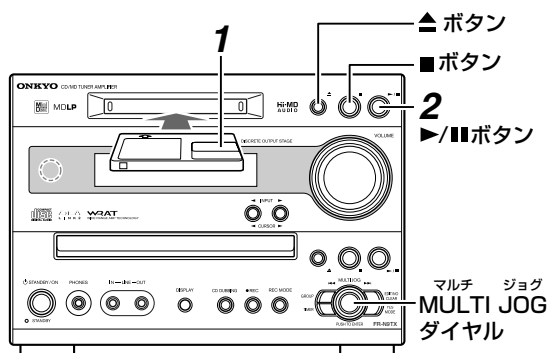
※ ⏭ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

再生する

ＣＤがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンの DISPLAY ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

MDを聞く

操作の前に
電源を入れてください。

1 MD をセットする

再生専用か、録音済みの MD を選んでください。
ラベル面を上に、矢印を本体の挿入口に向けて差し込みます。
軽く押すと自動的に引き込まれます。

- Hi-MD の場合は、Hi-MD インジケーターが点灯します。

！ヒント

スタンバイ時は MD をセットすることができません。電源を入れてから、MD を挿入してください。

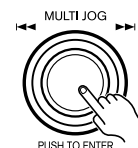
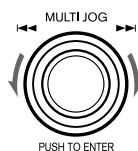
2 MD の ►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

（MD 側）

再生が始まります。

グループのある MD のとき

聞きたい曲を選ぶ

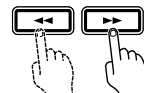
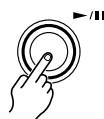
- 再生中に MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを左に回すと再生中の曲の頭に戻り、さらに回すと 1 曲ずつ前に戻ります。右に回すと 1 曲ずつ次へ進みます。
  停止中は左に回すと 1 曲ずつ前の曲に戻り､右に回すと 1 曲ずつ次の曲に進みます。
  リモコンでは、再生中に ❙◄◄ ボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、さらに押すと 1 曲ずつ前に戻ります。停止中は ❙◄◄ ボタンを押すと 1 曲ずつ前の曲に戻り、►►❙ ボタンを押すと 1 曲ずつ次の曲に進みます。
- 停止中はMULTI JOGダイヤルを押すと､再生が始まります。再生中に MULTI JOG ダイヤルを押すと、1 曲ずつ次の曲に進みます。

リモコンで早戻し / 早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。

！ヒント

一時停止中の早戻し / 早送りは音が出ません。表示部の経過時間で確認してください。

一時停止する

MD の ►/❚❚（プレイ/ポーズ） ボタンを押す

表示部に ❚❚ 表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

MD の■（ストップ）ボタンを押す

MDを取り出す

MD の ▲（イジェクト） ボタンを押す

リモコンで操作する

MDを選ぶ

数字ボタン

選曲して再生する

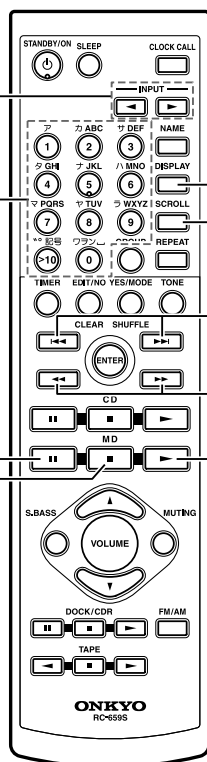
(0) ボタン：10または0を選びます。
(>10) ボタン：2桁以上の曲を選びます。ディスクやグループに含まれる曲数に応じた桁を表します。

例）

曲数	選ぶ曲番	押すボタン
300	13	(>10) (0) (1) (3)
1000	12	(>10) (0) (0) (1) (2)

グループの選びかたは、50ページをご覧ください。

再生を一時停止する
もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

表示部の情報を切り換える
DISPLAYボタンを押します。

ディスク名/曲名をスクロール表示する

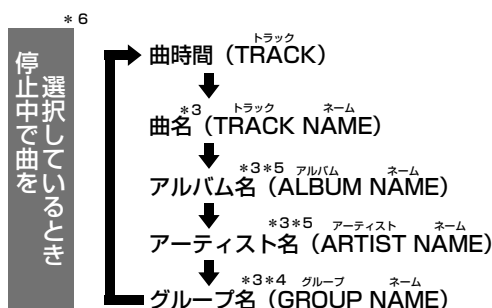
聞きたい曲を選ぶ
※ 再生中、一時停止中に ⏮ ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。
※ ⏭ ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

早戻し/早送りをする
再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

再生する
MDがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

STANDBY/ON SLEEP CLOCK CALL INPUT NAME DISPLAY SCROLL REPEAT TIMER EDIT/NO YES/MODE TONE CLEAR SHUFFLE ENTER CD MD S.BASS MUTING VOLUME DOCK/CDR FM/AM TAPE ONKYO RC-659S

表示部の情報を切り換える

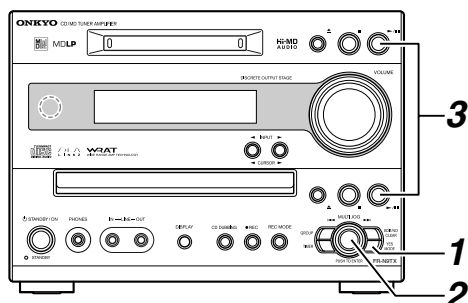
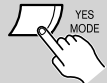
本体またはリモコンの DISPLAY ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。何も録音されていない MD のときは、「MD Blanc Disc」と表示されます。

*1 総時間が 999 分 59 秒を超える場合は「－－－：－－」と表示されます。DISPLAY ボタンを押すと「○○ h ○○ m ○○ s」に切り換えられます。
*2 再生専用ディスクのときは表示しません。
*3 リモコンの SCROLL ボタンを押すと、全ての文字を順番に表示させることができます。
名前がついていないときは、表示されません。（☞「MD、登録した放送局に名前をつける」62 ページ）
*4 選択された曲がグループに入っていない場合は表示されません。
*5 ディスクが Hi-MD モードのときのみ表示されます。
*6 DISPLAY ボタンを押し続けると、その曲の録音モードが表示されます。パソコンなどを使って、本機にはない録音モードで録音された曲の場合はビットレート（＊＊ kbps）が表示されます。

CD/MDのいろいろな再生

基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。

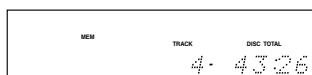
メモリー再生

- 曲を指定し（CD、MD それぞれ 25 曲まで）、その順序で再生します。
- CD のお好みの曲をメモリーし、CD ダビング機能と組み合わせるとお好みの MD を簡単に作成できます。（CD 倍速ダビングはできません。）

■リモコンで操作する

入力が CD/MD で停止中

1 YES/MODE ボタンを(くり返し)押して、「MEM」を表示させる

「MEM」が点灯

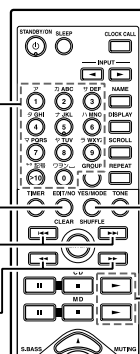
2 MULTI JOG ダイヤルを回して曲を選び、ダイヤルを押して確定する

次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。

予約曲番　予約曲の合計再生時間

間違って予約した曲を取り消すには

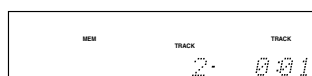
EDIT/NO/CLEAR ボタンを（くり返し）押すと、新しく入力したものから取り消されていきます。

！ヒント

予約時間の合計が以下の時間を越えると合計時間表示が不可能になりますが、再生に支障はありません。
CD：99 分 59 秒を超えると「--:--」となります。
MD：999 分 59 秒を超えると「---:--」となります。
26 曲以上は予約できません。
「Memory Full」と表示されます。

- MD でグループ内の曲を選ぶには、50 ページをご覧ください。

3 CD または MD の ▶/❚❚ ボタンを押す

（CD 側）または（MD 側）

メモリー再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

再生中の曲番

予約した曲のなかで選曲するには

再生中に MULTI JOG ダイヤルを回すか、リモコンの ⏮/⏭ ボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

予約した内容を確認するには

停止中に ◀◀/▶▶ ボタンを押して予約内容を確認できます。

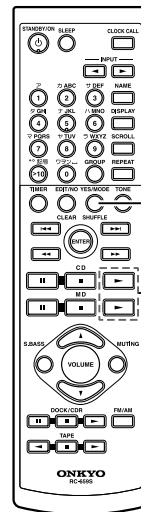
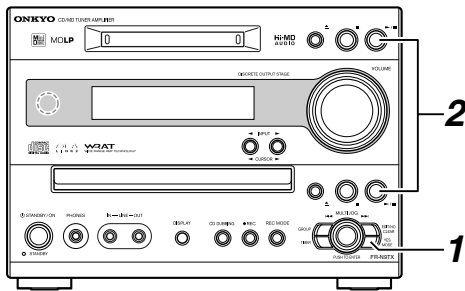
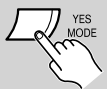
予約した曲を取り消すには

- メモリー再生モードの停止中に、EDIT/NO/CLEAR ボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
- 一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。

解除するには

☞「通常再生に戻す」30 ページ
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

ランダム再生

- 曲順をランダムに並べかえて、全曲を 1 通り再生します。

入力が CD/MD で停止中

1 YES/MODE ボタンを（くり返し）押して、「RDM」を表示させる

「RDM」が点灯

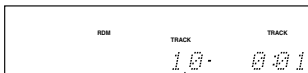
2 CD または MD の ►/❚❚ ボタンを押す

（CD 側）

または（MD 側）

再生が始まります。

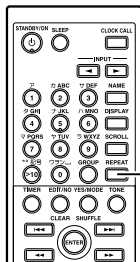
再生中の曲番

■リモコンで操作する

解除するには

☞「通常再生に戻す」30 ページ
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

CD/MDのいろいろな再生

リピート/1TR(ワントラック)リピート再生

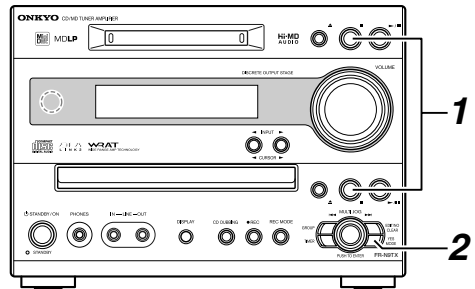
- リモコンで設定します。
- リピート再生は CD、MD のどちらかをくり返し再生します。
- 1TR(ワントラック)リピート再生は CD、MD のどちらか 1 曲をくり返し再生します。
- リピート再生は MD1 グループ再生（☞51 ページ）、メモリー再生、ランダム再生や通常の再生と組み合わせて使うことができます。1TR リピート再生は通常再生のみ、組み合わせて使うことができます。

リモコンの REPEAT(リピート) ボタンを(くり返し）押して、「REPEAT(リピート)」または「REPEAT(リピート) 1」を表示させる

「REPEAT(リピート)」または
「REPEAT 1」が点灯

リピートまたは 1TR リピート再生モードになります。

リピート、1TR リピート再生を取り消す

リモコンの REPEAT ボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にする

通常再生にもどす

メモリー、ランダム再生を取り消す

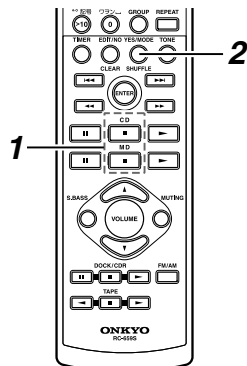
1 CD または MD の■(ストップ)ボタンを押して再生を止める

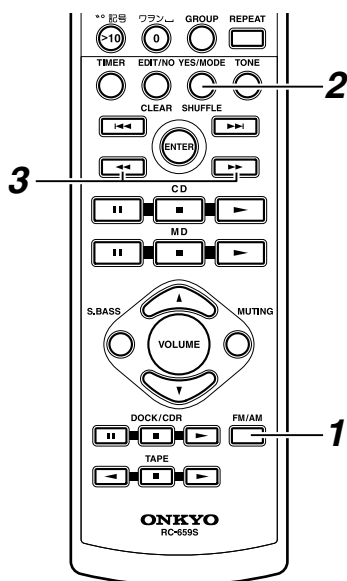
2 YES(イエス)/MODE(モード) ボタンを（くり返し）押して、「MEM(メモリー)」も「RDM(ランダム)」も点灯していない状態にする

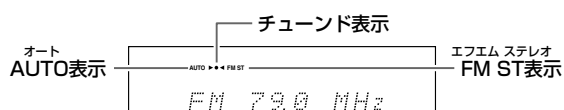
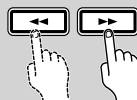
押すたびに表示が

MEM ──→ RDM ──→ 消灯 ─┐
↑────────────────────┘

と切り換わります。

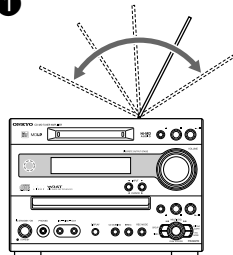
■ リモコンで操作する

FM/AM 放送を聞く

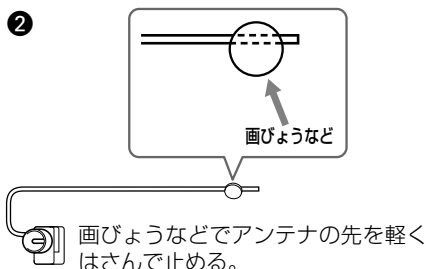
周波数を合わせて聞く

放送局を受信するとチューンド表示（▶ ● ◀）が点灯します。

FM ステレオ局を受信すると、FM ST（エフエムステレオ）表示が点灯します。

1	**入力を FM または AM にする** FM/AM ボタンを押して、FM または AM を選びます。
2	**YES/MODE/SHUFFLE（イエス/モード/シャッフル） ボタンを押して、自動受信か手動受信かを選ぶ** **自動的に受信（オートチューニング）したいときは** 「AUTO（オート）」表示を点灯させます。 ステレオ受信になります。 **手動で受信（マニュアルチューニング）したいときは** 「AUTO」表示を消灯させます。 モノラル受信になります。 AUTO表示 ● 本体の YES/MODE ボタンを押して、切り換えることもできます。
3	**◀◀/▶▶ ボタンを押す** 自動受信（オートチューニング）のときは放送局を見つけると、自動的に停止します。 手動受信（マニュアルチューニング）のときは 1 回押すごとに周波数が FM では 0.1MHz、AM では 9kHz ずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。指を離したところで周波数が止まります。

アンテナの調整をする

FM 室内アンテナを調整して固定する

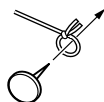
FM 放送を聞きながら FM アンテナの調整をします。

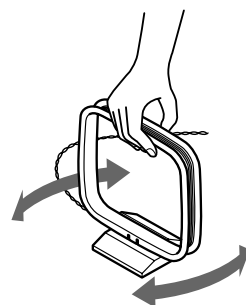
❶

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所をみつける。

❷

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

ご注意　画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

！ヒント

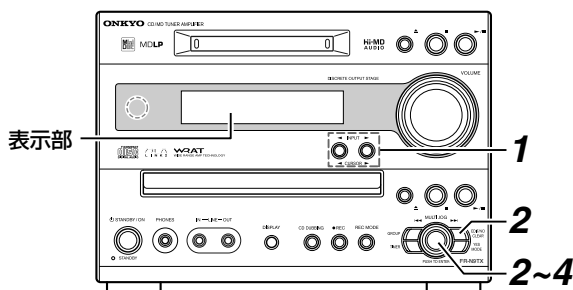
はずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

AM 室内アンテナを調整する

AM 放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置き直したり、左右に回して調整します。

放送局を登録する

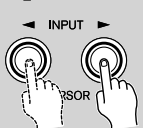
自動で登録する－オートプリセット－（FMのみの機能です）

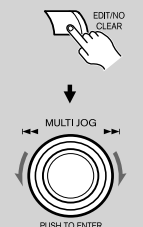
登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局ができます。受信から登録まで、自動（オート）で行えます。AM局は自動で登録できませんので、33ページをご覧ください。

予 備 知 識

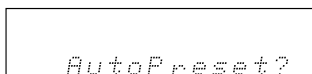
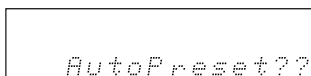
- FMの受信周波数は76.0～90.0MHzです。また、本機は、テレビのVHF1～3CHの音声を受信することができます。
  表示部に「VHF 3CH」のように表示されます。
  テレビの音声周波数
  1CH：95.75MHz、2CH：101.75MHz、3CH：107.75MHz
  ＊下記「お知らせ」もご参照ください。
- すでにFM局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。

操作の前に
電源を入れてください。
FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。（☞31ページ）

ご注意
お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）が登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞35ページ）

1

INPUT（インプット）◀/▶ボタンを（くり返し）押して、「FM」を表示させる

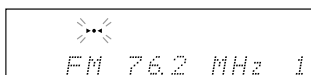
2

EDIT/NO/CLEAR（エディット/ノー/クリア）ボタンを押し、MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して「AutoPreset?（オートプリセット?）」を表示させる

AutoPreset?

3

MULTI JOG ダイヤルを押す

AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??（オートプリセット??）」が表示されます。
中断するときはEDIT/NO/CLEARボタンを押してください。

4

MULTI JOG ダイヤルを押す

オートプリセットが始まります。
周波数の低い順から自動的に最大20局まで登録していきます。

！ヒント

リモコンのFM/AMボタン、EDIT/NO/CLEAR（エディット/ノー/クリア）ボタン、⏮/⏭ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

！ヒント　登録したあとにこんなこともできます。

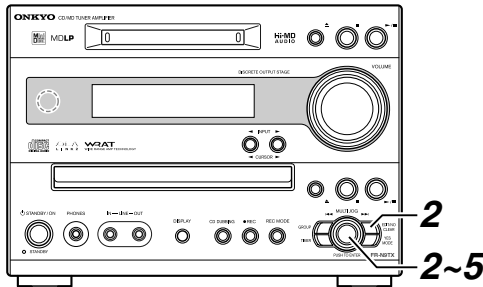
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。　☞62ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。　☞35ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。　☞35ページ

お知らせ
地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。
地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。
本機で受信できるVHF1～3CHについても同様となります。

1局ずつ登録する－プリセットライト－

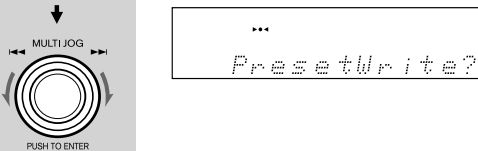
AM 局は周波数を手動で合わせて、1 局ずつ登録します。（FM は、この方法と自動で登録する方法「オートプリセット」があります。）

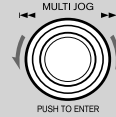
予備知識

- FM、AM 合わせて 30 チャンネルまで登録できます。例えば、FM で 8 チャンネル使っている場合は AM で 22 チャンネルまで登録できます。
- FM、AM は独立して表示されますので、FM と AM に同じチャンネル番号があってもかまいません。
- 1 局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えば AM チャンネル 2、5、9 のようにすることができます。

操作の前に
電源を入れてください。

1 登録したい放送局を受信する

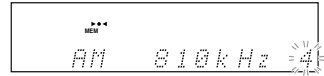
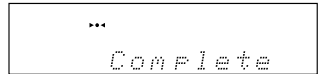
31 ページを参考に、登録したい放送局を受信します。

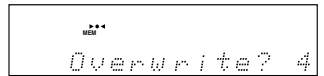
2 EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Preset Write?」を表示させる

3 MULTI JOG ダイヤルを押す

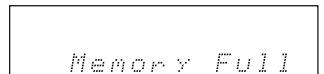
登録するチャンネルが表示されます。
中断するときは EDIT/NO/CLEAR ボタンを押します。

4 別のチャンネルに登録するときは、MULTI JOG ダイヤルを回す

5 MULTI JOG ダイヤルを押して決定する

「Complete」（完了）と表示されたときは

Complete

放送局がプリセットチャンネルに登録されました。

「Overwrite?」（書き換えますか ?）と表示されたときは

選んだチャンネル番号は登録済みです。
- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES/MODE ボタンを押します。
- 登録をやめるときは、EDIT/NO/CLEAR ボタンを押します。

「Memory Full」と表示されたときは

FM、AM 合わせてすでに 30 チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞35 ページ）、再度登録してください。

6 次を登録するときは、手順 *1* ～ *5* をくり返す

！ヒント

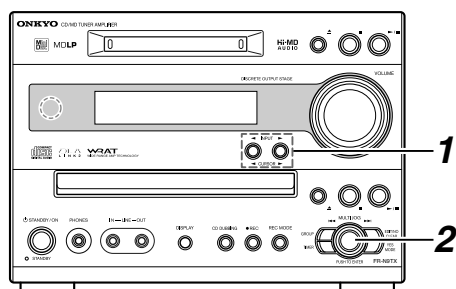
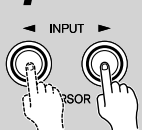
リモコンの EDIT/NO/CLEAR ボタン、⏮/⏭ ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

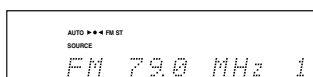
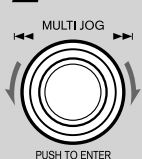
！ヒント **登録したあとにこんなこともできます。**

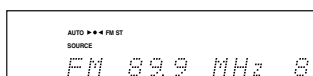
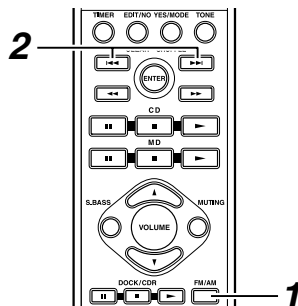
- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞62 ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞35 ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞35 ページ

放送局を登録する

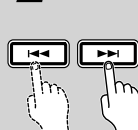
登録した放送局を聞く　あらかじめ放送局を登録しておいてください。(☞32、33 ページ)

■本体で操作する

操作の前に
電源を入れてください。

1 入力を FM または AM にする

INPUT◀/▶ ボタンを押して、FM または AM を選びます。

2 MULTI JOG ダイヤルを回してプリセットチャンネルを選ぶ

左に回すと前のチャンネルを、右に回すと次のチャンネルを選べます。

■ リモコンで操作する

操作の前に
電源を入れてください。

1 FM/AM ボタンを押す

バンドを切り換えるには、もう一度押します。FM の場合は AM に、AM の場合は FM になります。

2 ⏮/⏭ ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ

⏮ ボタンを押すと前のチャンネルを、⏭ ボタンを押すと次のチャンネルを選べます。

！ヒント

数字ボタンで登録した放送局を選ぶこともできます。

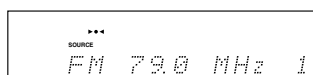
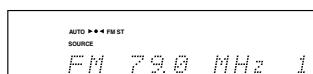
例） 登録番号	押すボタン
8	8
10	1 0
22	>10 2 2

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンの DISPLAY ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

FM/AM周波数 ⟷ 放送局に付けた名前

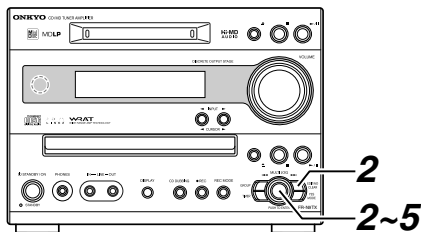
● 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name」が表示され、周波数表示に戻ります。
☞「登録した放送局に名前をつける」(☞62 ページ)

FM放送を受信しにくいときは

電波の弱い所や雑音の多い所では本体またはリモコンの YES/MODE ボタンを押し、AUTO（オートステレオ）の表示を消してモノラル受信にしてください。
雑音や音切れを軽減できます。
AUTO にもどすときは、同じボタンを再度押します。
通常は、AUTO にしておいてください。自動的に FM ステレオ受信となります。

登録した放送局を編集する

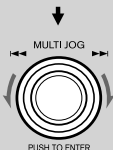
コピーと削除の 2 つの基本機能を使って、あるチャンネルに登録された放送局を別のチャンネルにコピー、チャンネル番号の変更、不要なチャンネルの削除などができます。

登録した放送局をコピーする

登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞ 62 ページ）も同時にコピーされます。

1 FM または AM の、コピーするチャンネルを呼び出す

例）4CH（チャンネル）、FM80.00MHz を選んだとき

FM 80.0 MHz 4

2 EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI（マルチ）JOG（ジョグ）ダイヤルを回し「Preset（プリセット）Copy?（コピー?）」を表示させる

PresetCopy?

3 MULTI JOG ダイヤルを押す

FM 80.0 MHz 6

チャンネルが点滅を始めるので、MULTI JOG ダイヤルを回してコピー先のチャンネルを選びます。

4 MULTI JOG ダイヤル押す

放送局が指定のチャンネルにコピーされ、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

「Overwrite?（オーバーライト?）」（書き換えますか ?）と表示されたときは

選んだチャンネルは登録済みです。

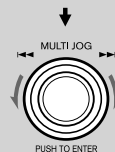
- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、MULTI JOG ダイヤルを押します。
- 書き換えをやめるときは、EDIT/NO/CLEAR ボタンを押します。

！ヒント

リモコンの ⏮/⏭ ボタン、EDIT/NO/CLEAR ボタン、ENTER（エンター）ボタンでも操作することができます。

登録した放送局を削除する

1 FM または AM の、削除するチャンネルを呼び出す

2 EDIT（エディット）/NO（ノー）/CLEAR（クリア）ボタンを押し、MULTI（マルチ）JOG（ジョグ）ダイヤルを回し「Preset（プリセット）Erase?（イレーズ?）」を表示させる

3 MULTI JOG ダイヤルを押す

「Erase（イレーズ） OK?」と再確認のメッセージが表示されます。

削除をやめるときは、EDIT/NO/CLEAR ボタンを押します。

削除するときは、もう一度 MULTI JOG ダイヤルを押します。

登録した放送局が削除され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示された後、通常表示に戻ります。

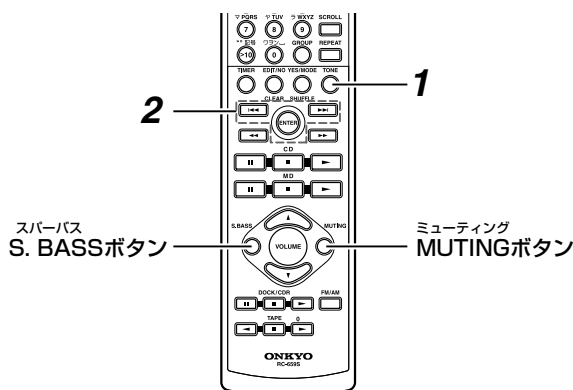
編集のヒント

チャンネル番号を変更するには

コピーと削除機能を使います。
例えば、FM で 4 チャンネルに登録された放送局を 6 チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4 チャンネルを 6 チャンネルにコピーする。
❷ 4 チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

音質を調整する

低音を調整する

1

TONE

TONE ボタンを(くり返し)押して、「Bass」を表示させる

2

⏮/⏭ ボタンを押して調整し、ENTER ボタンを押して確定する

- お買い上げ時の設定は「± 0」ですが、－ 3 から＋ 3 の間で 1 ステップずつ調整できます。
- ENTER ボタンを押すと、高音（Treble）の調整になります。

ご注意

操作の間、約 8 秒間何もしないと元の表示に戻ります。

高音を調整する

1

TONE

TONE ボタンを(くり返し)押して、「Treble」を表示させる

2

⏮/⏭ ボタンを押して調整し、ENTER ボタンを押して確定する

- お買い上げ時の設定は「± 0」ですが、－ 3 から＋ 3 の間で 1 ステップずつ調整できます。
- ENTER ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

ご注意

操作の間、約 8 秒間何もしないと元の表示に戻ります。

低音を強調する

S.BASS

S.BASS ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

S.BASS 機能が働いているときは、S.BASS インジケーターが点灯します。

音量を一時的に小さくする

MUTING

MUTING ボタンを押す

MUTING 表示が点滅し、音量がごく小さくなります。

MUTING

もう一度押すと、解除されます。
以下のときも解除されます。

- 音量を調整したとき
- 一度電源を切ってから再度電源を入れたとき

録音する

MDの基礎知識

MD には再生専用と録音用の 2 種類があります。
カセットテープなどは巻き戻しておくと前回録音したものに上書きして録音されますが、MD の場合は、以前録音された曲の続きに録音されます。始めから録音したい場合は、すでに録音されているものを消去してから録音を開始します。
録音をしたり、名前をつけたり、編集した情報は MD の目次部分（TOC = Table Of Contents（テーブル オブ コンテンツ））に書き込まれます。

TOC 表示が点灯しているとき（録音中や名前をつけたときなど）
MD の TOC に書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。

TOC 表示が点滅しているとき（録音停止時やディスクを取り出すときなど）
MD に情報を書き込んでいる最中です。この状態のときは、電源プラグを抜いたり、揺らしたりしないでください。停電になった場合は、停電前の記録内容は消去されます。

MDLPって？

人の耳には聞こえない音をカットし、データを圧縮して録音します。そのため、録音可能時間が通常の 2 倍や 4 倍になります。LP2 や LP4 など、MD モードのときに選べます。

グループ機能って？

1 枚の MD に入っている曲を好みのグループに分けることができます。MDLP や Hi-MD モードでたくさんの曲が入っているディスクで使用すると便利です。（☞50 ページ）

Hi-MDって？

本機の MD は Hi-MD モード、MD モードの 2 種類に対応しています。

- Hi-MD ロゴの付いていない、60/74/80 分ディスクは初期化（☞38 ページ）することで、Hi-MD モードにすることができます。ただし、Hi-MD 規格専用 1GB ディスクは Hi-MD モード専用で、MD モードにすることはできません。
- Hi-MD モードでは記録方式を変え、従来の LP2 や LP4 と比べて高圧縮、高音質を実現しました。これによって、高音質を確保しながら MD モードより長い時間記録することができます。

MD モードとは従来の音楽データのみ記録するモードです。
Hi-MD モードは MD の新しい形式で、従来の音楽データだけでなく、パソコンを使ってテキスト（文字）や画像データを記録することができます。本機で可能な操作は音楽データの録音、再生、削除のみです。また、パソコンでファイル（MP3 など）として転送された音楽データは本機では再生できません。

■ Hi-MD モードと MD モードの選びかた

1 枚のディスクに MD モードと Hi-MD モードを混在させることはできません。下記の項目を参考に、用途に応じてディスクごとに選択してください。

Hi-MD モード

- 本機でのみ MD を使用する場合
- 本機で録音したディスクを Hi-MD 対応機器でしか再生しない場合（他にお手持ちのポータブル MD、車載 MD プレーヤーなども Hi-MD に対応している場合）

Hi-MD を初期化してください。（☞38 ページ）
すでに録音されている曲は消去されます。

MD モード

- 本機で録音したディスクを Hi-MD に対応していない機器でも再生する場合（他にお手持ちのポータブル MD、車載 MD プレーヤーなどが Hi-MD に対応していない場合、Hi-MD モードで作成されたディスクは再生できません。）

■録音モードと録音可能時間

（MD モード時）

録音モード ＼ ディスクの種類	80 分ディスク	74 分ディスク	60 分ディスク
SP（ステレオ録音）	約 80 分	約 74 分	約 60 分
LP2（ステレオ録音）	約 2 時間 40 分	約 2 時間 28 分	約 2 時間
LP4（ステレオ録音）	約 5 時間 20 分	約 4 時間 56 分	約 4 時間
MONO（モノラル録音）	約 2 時間 40 分	約 2 時間 28 分	約 2 時間

（Hi-MD モード時）

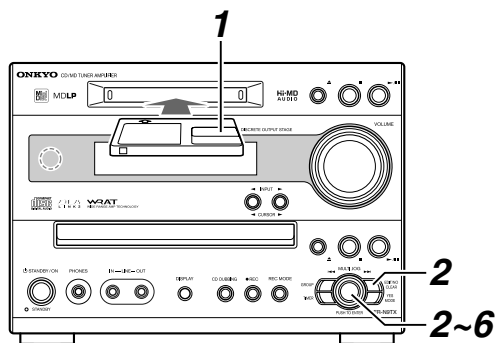
録音モード ＼ ディスクの種類	Hi-MD 規格専用 1GB ディスク	80 分ディスク	74 分ディスク	60 分ディスク
PCM（非圧縮ステレオ録音）	約 1 時間 34 分	約 28 分	約 26 分	約 21 分
Hi-SP（ステレオ録音）	約 7 時間 55 分	約 2 時間 20 分	約 2 時間 10 分	約 1 時間 45 分
Hi-LP（ステレオ録音）	約 34 時間	約 10 時間 10 分	約 9 時間 25 分	約 7 時間 40 分

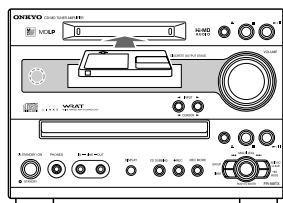
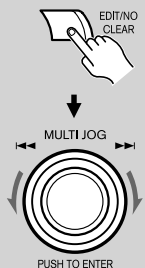
- PCM では、CD の音楽データを全く圧縮せずに録音するモードで、CD と同じ音質が得られます。ただし、容量をたくさん必要とするため録音可能時間が短くなります。

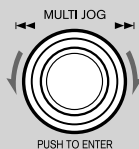
ご注意

- Hi-MD モードのディスクを Hi-MD 非対応機器で再生することはできません。
- 1 枚のディスク内に、Hi-MD モード、MD モードを混在させることはできません。
- LP2、LP4 のモードで録音したディスクは、LP2、LP4 モード非対応機器で再生することはできません。

MDを初期化する－（ディスクフォーマット）

60/74/80 分ディスクを MD モードまたは Hi-MD モードにします。（Hi-MD 規格専用ディスクは Hi-MD モード専用ディスクのため MD モードにはなりません。）
- すでに記録されている音楽データや Hi-MD の場合は、その他のデータ（文書や画像データ）もすべて消去して初期化します。

入力が MD で停止中

1 MD をセットする
- MD モードのディスクの場合は、表示部に「MD」と表示されます。
- Hi-MD モードのディスクの場合は、Hi-MD インジケーターが点灯します。

2 EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Disc Format?（ディスクを初期化しますか？）」を表示させる

Disc Format?

3 MULTI JOG ダイヤルを押す

4 MULTI JOG ダイヤルを回して「MD Format?」または「Hi-MD Format?」を表示させる

MD Format?

- MD モードにするときは、「MD Format?」と表示させます。

Hi-MD Format?

- Hi-MD モードにするときは、「Hi-MD Format?」と表示させます。

5 MULTI JOG ダイヤルを押す
再確認のため、「Format OK?（データが消去されますがいいですか？）」が表示されます。

Format OK?

6 MULTI JOG ダイヤルを押す
MD を初期化します。

MD BlankDisc

ご注意
- MD モードにすると、そのディスクは MD モードになり、再度初期化しない限り、Hi-MD モードにはなりません。
- Hi-MD モードにすると、そのディスクは Hi-MD モードになり、再度初期化しない限り、MD モードにはなりません。また、Hi-MD 非対応機器で再生することはできません。

！ヒント

リモコンの EDIT/NO/CLEAR ボタン、⏮/⏭ ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

録音方法の種類

デジタルで録音された CD-R をデジタル録音することはできません。

CD ダビング　**CD DUBBING（ダビング）ボタンを使って本機 CD から MD にワンタッチで録音する**
- デジタル入力録音…自動でデジタル入力録音します。
- MD に曲番は自動でつきます。
- DLA リンク（自動で最適な録音レベルに調整する機能）のオン / オフが可能です。

CD 倍速ダビング　**上記の CD ダビングを約半分の時間で行います**
- DLA リンクは働きません。

シンクロ録音　**オンキヨー製外部機器から MD に録音する**
- レベルシンク（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン / オフが可能です。
- 録音レベルはお好みに調整できます。

シグナル シンクロ録音　**その他の外部機器から MD に録音する**
- レベルシンク（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン / オフが可能です。
- 録音レベルはお好みに調整できます。

こんな録音はどうするの？	➡	この機能や設定を使うと便利です	
Hi-MD モードで録音したい	➡	初期化してディスクを Hi-MD モードにする	38 ページ
アルバム CD を MD にそのまま録音したい	➡	CD ダビング （CD 倍速ダビングもできます）	40 ページ 41 ページ
今聞いている曲だけを録音したい	➡	トラック指定 CD ダビング	42 ページ
CD の中から好きな曲だけを録音したい	➡	好きな曲だけをダビングする メモリー再生機能と組み合わせて録音します	42 ページ
たくさんのシングル CD を MD に録音したい	➡	トラック指定 CD ダビング	42 ページ
短時間で録音をすませたい	➡	CD 倍速ダビング	41 ページ
FM/AM 放送を録音したい	➡	FM/AM 放送を MD に録音する	43 ページ
オンキヨー製カセットテープデッキや CD レコーダーから MD に録音したい	➡	シンクロ録音	44 ページ
その他の外部機器から MD に録音したい	➡	シグナルシンクロ録音	45 ページ
たくさんの曲を 1 枚の MD に入れたい	➡	録音モードを切り換える	46 ページ
グループを作りながら録音をしたい	➡	MD グループ録音設定	46 ページ
最後まで録音されない曲をフェードアウトさせたい	➡	フェードアウトダビング設定	47 ページ
CD の音量レベルのままで CD ダビングしたい	➡	DLA リンクを切り換え、 CD ダビングをする	47 ページ 40 ページ
録音レベルを調整したい	➡	録音レベルを調整する	48 ページ
CD から MD にアナログで録音したい	➡	アナログ入力録音に設定し、 シンクロ録音をする	48 ページ 44 ページ
レベルシンクを切り換えたい	➡	レベルシンクを切り換える	49 ページ

録音する

CDをMDに録音する（CDダビング）

- ワンタッチデジタル録音です。
- 曲番は自動でつきます。

ご注意

CD がランダム再生モードになっているときは、CD ダビングはできません。

1 CD と MD をセットする

DISPLAY

MD の録音可能な残り時間を確認するには

入力を MD にして、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押してください。

！ヒント

録音モードを切り換えるには、REC MODE（レック モード）ボタンを押します。（☞46 ページ）

2 CD DUBBING（ダビング）ボタンを押す

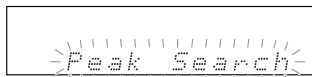
CD DUBBING

➡ CD-MD Dubbin

“X2 Dubbing?”が 3 秒間表示されます。

“CD-MD Dubbing DLA Link On”または“CD-MD Dubbing DLA Link Off”がスクロールします。

＜ DLA リンク＞

CD は Peak Search（ピーク サーチ）（最大レベルの検出）を行い、MD への最適な録音レベルを設定します。（この機能をオンにするには。☞47 ページ）

＜録音開始＞

その後、録音を開始します。録音には CD の記録時間と同じだけの時間がかかります。

＜録音停止＞

CD の再生が終わるか、MD の最後まで録音すると、録音が止まります。

録音停止後、TOC（トック）表示が点滅し、録音した情報を書き込みます。90 秒程度かかることがあります。

！ヒント

Peak Search は最長で 90 秒かかることがあります。

CD ダビング中のご注意

►/II（プレイ/ポーズ）、▲（イジェクト）などのボタンは働きません。

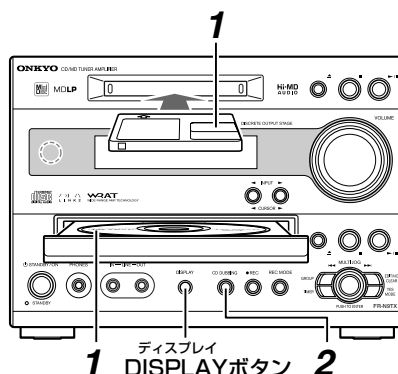
録音結果を確かめるには

録音終了後、本体の ►/II ボタンまたはリモコンの MD►（プレイ）ボタンを押します。

録音を始めたところから再生が始まります。

CDをMDに録音する（CD倍速ダビング）

- デジタル録音を通常の約半分の時間で行います。
- 曲番は自動でつきます。
- DLA リンクは働きません。
- CD 倍速ダビング中、音声は聞こえません。
- CD がメモリー再生、ランダム再生モードになっているときは、CD 倍速ダビングはできません。リピート再生は解除されます。
- CD 倍速ダビングは、ディスクの汚れ等の影響をうけやすくなります。音飛び、ノイズ等が発生する場合は、通常の CD ダビングで録音してください。

1

CD と MD をセットする

MD の録音可能な残り時間を確認するには

入力を MD にして、DISPLAY ボタンを（くり返し）押してください。

！ヒント

録音モードを切り換えるには、REC MODE ボタンを押します。（☞46 ページ）

2

CD DUBBING ボタンを 2 回押す

CD DUBBING ボタンは続けて３秒以内に押してください。

CD-MD×2 Dubbing　がスクロールします

<録音開始>

その後、録音を開始します。録音には CD の記録時間の約半分の時間がかかります。

<録音停止>

CD の再生が終わるか、MD の最後まで録音すると、録音が止まります。

録音停止後、TOC 表示が点滅し、録音した情報を書き込みます。90 秒程度かかることがあります。

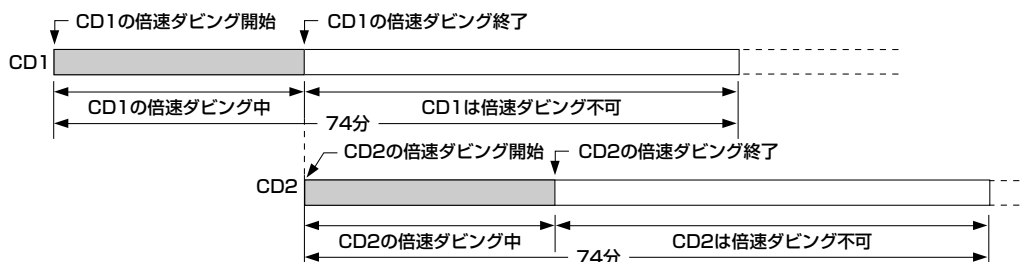
CD ダビング中のご注意

▶/Ⅱ、▲ などのボタンは働きません。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体の ▶/Ⅱ ボタンまたはリモコンの MD▶ ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

CD倍速ダビングの制限について　※制限があるのは、MDモードのディスクのみです。

MD モードで CD 倍速ダビングを行った CD はその記録時間に関係なく、著作権保護のため開始時より 74 分間は CD 倍速ダビングをすることができません。CD 倍速ダビングをしようとすると"Time Protect"と表示され、その CD が CD 倍速ダビングができるまでの待ち時間が表示されます。（例："Wait 42 min"）他の CD を使用する場合は、続けて録音することができますが、74 分以内に 21 枚以上の CD を続けて録音することもできません。

CDをMDに録音する（いろいろなCDダビング）

今聞いている曲のみを頭から録音する（トラック指定CDダビング）

❶CD と MD をセットし、►/II（プレイ/ポーズ）ボタンを押して再生を始める

❷CD 鑑賞中に録音したい曲があったら、CD DUBBING（ダビング）ボタンを押す

DLA リンク機能が「オン」のときは、ピークサーチを行い、その後聞いていた曲の頭から録音が始まります。（DLA リンク設定を「オン」にするには、47 ページをご覧ください。）
録音には CD のトラックと同じだけの時間がかかります。
その曲のダビングが終わると MD は停止します。CD はそのまま再生を続けます。

ご注意

- CD 倍速ダビングはできません。
- CD がランダム再生モードになっているときは、CD ダビングはできません。

好きな曲だけをダビングする

❶CD と MD をセットし、入力を CD にしたあとメモリー再生の設定をする

28 ページの設定を行います。
（再生はしないでください。再生すると、トラック指定 CD ダビングになります。）

❷CD DUBBING（ダビング）ボタンを押す

DLA リンク機能が「オン」のときは、ピークサーチを行い、その後録音が始まります。（DLA リンク設定を「オン」にするには、47 ページをご覧ください。）

ご注意

- CD がメモリー再生、ランダム再生になっているときは、CD 倍速ダビングができません。
- 1TR（ワントラック）リピート再生モードで録音すると曲番がつかない場合があります。

FM/AM放送をMDに録音する

長時間のラジオ番組などを録音するときは、録音モード（☞46 ページ）を切り換えて使うと便利です。

1

MD をセットする

2

INPUT（インプット）◀/▶ ボタンを（くり返し）押して、入力を「FM」または「AM」にする

3

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ） ダイヤルを回して録音したい放送局を選ぶ

！ヒント

録音モードを切り換えるには、REC（レック） MODE（モード） ボタンを押します。（☞46 ページ）

4

●REC（レック） ボタンを押して、録音待機状態にする

MDグループ録音設定が「オン」になっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1曲目と表示されます。

録音レベルを調節するときは

☞48 ページ

レベルシンクのオン、オフを切り換えるときは

☞「曲番をつける－レベルシンクを切り換える」（49 ページ）

5

MD の ►/ll（プレイ/ポーズ） ボタンを押して、録音を始める

MD の最後まで録音すると、自動的に停止します。

途中で止めるときは、MD の■（ストップ）ボタンを押します。

録音停止後、TOC（トック） 表示が点滅し、録音した情報を書き込みます。90 秒程度かかることがあります。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体の ►/ll ボタンまたはリモコンの MD► （プレイ） ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

一時停止するには

MD の ►/ll ボタンを押します。もう一度押すと一時停止したところから録音が始まります。曲番は次の曲番に移ります。

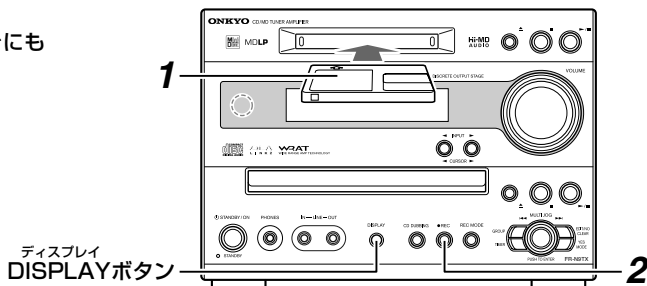
曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●REC ボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約 4 秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音する

オンキヨー製品からMDに録音する（シンクロ録音）

- オンキヨー製の外部機器からの録音に便利です。
- 本機の CD から MD へ選曲しながら録音するときにも便利です。

ここではカセットテープデッキから
本機の MD にシンクロ録音する手順を説明します。

1 録音するソース（接続したカセットデッキのテープ）と MD をセットする

DISPLAY

MD の録音可能な残り時間を確認するには

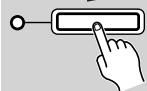
入力を MD にして、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押してください。

！ヒント

録音モードを切り換えるには、REC MODE（レック モード）ボタンを押します。（☞46 ページ）

2 ●REC（レック）ボタンを押して、録音待機状態にする

●REC

MDグループ録音設定が「オン」になっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1曲目と表示されます。

3 録音するソース(接続したカセットテープ)を再生する

（カセットテープデッキ側）

録音が始まります。

録音モード

SOURCE TRACK MD
TA 1· 001

シンクロ録音を中断するには

再生しているソース（接続しているカセットテープ）を停止すると、MD は録音待機状態になります。

録音停止後、TOC（トック）表示が点滅し、録音した情報を書き込みます。90 秒程度かかることがあります。

一時停止して選曲する

再生しているソースを一時停止または停止すると、MD も録音待機状態となります。選曲して再度再生すると、MD の録音が始まります。

ただし、MD ■（ストップ）ボタンを押すと MD は停止しますが、カセットテープデッキは再生を続けます。

曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●REC（レック）ボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（約 4 秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音結果を確かめるには

☞43 ページの同項目

！ヒント

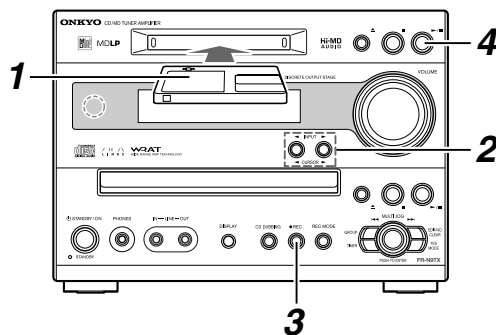
別売のオンキヨー製カセットテープデッキまたは CD レコーダーを本機に接続すると、以下のような操作ができます。

CD からカセットテープや CD レコーダーへのシンクロ録音
MD からカセットテープや CD レコーダーへのシンクロ録音

- CD や MD からカセットテープへのシンクロ録音については、カセットテープデッキ側の録音レベルを調節する必要があります。詳しくはカセットテープデッキの取扱説明書をご覧ください。
- CD レコーダーへの録音方法は、CD レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

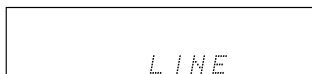
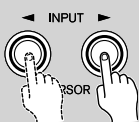
外部機器からMDに録音する

本機と接続した外部機器から MD に録音します。

デジタル録音について
本機にはサンプリング・レート・コンバーターが搭載されていますので、CD（44.1kHz）以外の、デジタル外部機器（DAT や衛星放送など）からのデジタル信号（32kHz や 48kHz）も録音することができます。
デジタル録音された MD や CD-R を MD にデジタル録音することはできません。

1 MD をセットする

2 INPUT◀/▶ ボタンを（くり返し）押して、録音する外部機器を選ぶ

DOCK、TAPE、LINE、DIGITAL のいずれかを選びます。

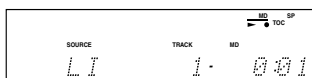
LINE

！ヒント
名称を変えると、その名称が表示されます。（☞73 ページ）
録音モードを切り換えるには、REC MODE ボタンを押します。（☞46 ページ）

3 ●REC ボタンを押して、録音待機状態にする

！ヒント
外部デジタル入力の場合、「D.In Unlock」が表示されたときや、DIGITAL 表示が点滅しているときは、デジタル端子接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

4 MD の ▶/II ボタンを押して、録音を始める

（MD 側）

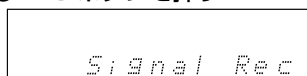
►/II

5 外部機器の再生を始める

MD の最後まで録音すると自動的に停止します。
途中で止めるときは、MD の■ボタンを押します。

シグナルシンクロ録音をする

シグナルシンクロ録音とは、外部の入力信号が入ってきた時点で自動的に MD 録音を開始する機能です。

❶**左項の手順 *1* ～ *3* を行う**
通常の録音待機状態になっています。

❷ **●REC ボタンを押す**

Signal Rec

「Signal Rec」が表示され、シグナルシンクロ録音待機状態となります。

❸**外部機器の再生を始める**
外部機器からの信号が入ってくると自動的に録音が始まります。
（☞ 左項の手順 *4* を行う必要はありません。）

！ヒント
本機の CD とのシグナルシンクロ録音をすることもできます。

録音レベルを調節するときは

☞48 ページの同項目。

レベルシンクを切り換えるには

☞49 ページの同項目。

曲番を好きなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●REC ボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（4 秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音を一時停止するときは

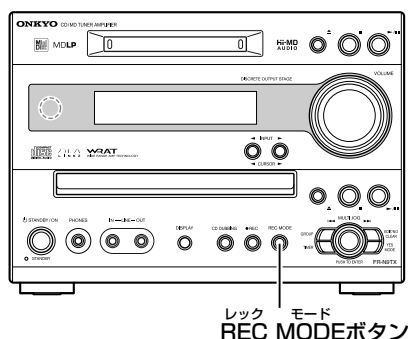
MD の ▶/II ボタンを押します。録音を再開するときは、同じボタンをもう一度押します。

録音結果を確かめるときは

録音終了後、本体の ▶/II ボタンまたはリモコンの MD▶ ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

録音の設定

録音モードを切り換える MD が停止中

録音を開始する前に設定します。

REC MODE ボタンを押すたびに、以下の順で録音モードが切り換わります

録音モードによって録音できる時間が異なります。
1 曲ずつ設定できます。

MD モード

SP ： 通常のステレオ録音モードです。ディスクに記載されている時間分のステレオ録音ができます。

LP2 ： 通常のステレオ録音を 1/2 に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の２倍になります。

LP4 ： 通常のステレオ録音を 1/4 に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の４倍になります。

Mono ： モノラル録音モードです。
録音可能時間は「SP」の 2 倍になります。

Hi-MD モード

PCM ：非圧縮の録音モードです。

Hi-SP ：Hi-MD の通常のステレオ録音モードです。

Hi-LP ：Hi-MD のステレオ長時間録音モードです。

ご注意

- 「LP2」、「LP4」の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4 モードの搭載機器以外では再生できません。
また、「LP2」、「LP4」モードで録音したディスクは、SP モード録音と比べて多少音質が異なります。
- 「PCM」、「Hi-SP」、「Hi-LP」で録音したディスクは、Hi-MD 対応の機器以外では再生できません。また、モードによって多少音質が異なります。

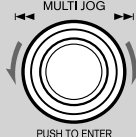
MDグループ録音設定 入力が MD で停止中

録音を開始する前に設定します。
録音時、複数の曲をひとまとまりのグループにして録音することができます。（トラック指定 CD ダビング時は 1 曲ずつダビングするため、グループになりません。）

1

EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して、「Group Rec?」を表示させる

Group Rec?

2

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

MULTI JOG ダイヤルを押す

現在の設定が表示されます。この場合は「On → Off ？」でグループ録音モードを解除しますか？の意味です。

On ：グループ録音モードが働きます。複数の曲をひとまとまりにして録音します。

Off ：グループ録音モードは働きません。

3

MULTI JOG ダイヤルを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEAR ボタンを押します。

- この設定で CD ダビングや録音をすると、ひとまとまりのグループにして録音します。シンクロ録音やシグナルシンクロ録音では、録音を開始してから MD の■ボタンを押すまでグループにして録音します。

！ヒント

- 録音中に GROUP ボタンを押すと、現在の設定が表示されます。
- リモコンの EDIT/NO/CLEAR ボタン、⏮/⏭ ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

MD グループ機能については、50 ページをご覧ください。

フェードアウトダビング設定　入力がMDで停止中

録音を開始する前に設定します。
この機能を「On」にして、CDダビング、トラック指定CDダビングをすると、ディスクがいっぱいになって最後まで録音されない曲を途中でフェードアウト（音量を徐々に小さくする）します。（CD倍速ダビング時はできません。）

1 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Fade Dub?」を表示させる

Fade Dub?

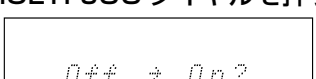
2 MULTI JOGダイヤルを押す

Off → On?

現在の設定が表示されます。この場合は「Off → On ?」でフェードアウトモードにしますか？の意味です。

3 MULTI JOGダイヤルを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。
- ●「On」の設定でCDダビング、トラック指定CDダビングをすると、フェードアウトダビングになります。

！ヒント
- CDダビング中にCD DUBBINGボタンを押すと、現在の設定が表示されます。
- リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、⏮/⏭ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

ご注意
録音中は、録音後の音声がスピーカーから出力されます。MDの録音が先に終了した場合、そのあとはCDの再生音が出力されます。フェードアウトして録音終了したあと、音量が急に大きくなるのはそのためです。

DLAリンク設定　入力がCDで停止中

DLAリンクとは、CDダビング時に自動で録音レベルを調整する機能です。小さな音が多く含まれている楽曲は、再生するときに音量を調整しなければならないことがあります。再生するときに同じボリューム位置でお楽しみいただけるよう、CDダビングをする前に高速でピークサーチを行い、録音レベルを調整しています。

CDの録音データを全く圧縮しないPCMモードなどで、CDの音量レベルそのままでCDダビングをしたい場合は、DLAリンク設定が「オフ」であることを確かめてからCDダビングをします。クラシック音楽に見られるように、小さな音のあいだに瞬間的に大きな音が含まれるような音源の場合は、ピークサーチしにくい場合がありますので、DLAリンク設定を「オフ」にして録音することをおすすめします。

1 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「DLA Mode?」を表示させる

DLA Mode?

2 MULTI JOGダイヤルを押す

Off → On?

現在の設定が表示されます。初期設定は「Off」になっています。この場合は「Off → On ?」でDLAリンクを設定しますか？の意味です。

3 MULTI JOGダイヤルを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。
- ●「On」の設定でCDダビング、トラック指定CDダビングをすると、DLAリンクが働きます。CD倍速ダビング時は「On」でもDLAリンクは働きません。

！ヒント
- リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、⏮/⏭ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。
- DLAリンクの設定は、次の操作をしたとき初期設定「Off」に戻ります。
  →スタンバイ状態にしたとき
  →入力を切り換えたとき
  →ディスクを取り出したとき

録音レベルを調整する

録音レベルが適当でないときに録音レベルを調整します。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に調整できます。

録音するソースを再生中、●REC ボタンを押して録音待機中に以下の操作をします。
録音レベルの調整は CD（デジタル）、CD（アナログ）、チューナー（AM/FM）、DOCK、TAPE、LINE、DIGITAL でそれぞれ別々に設定することができます。

- ここで調整したレベルは記憶され、次回録音するときも、同じレベルで録音されます。
- CD を録音する場合は、前もって DLA リンクの設定を「オン」にしておいてください。（☞47 ページ）

1

EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Rec Level?」（録音レベル）を表示させる

Rec Level?

2

MULTI JOG ダイヤルを押す

3

MULTI JOG ダイヤルを回して録音レベル(Rec Level)を調節する

調節できる範囲は－∞ dB から＋ 18.0dB です。
－12.5dB から＋18.0dB の範囲では 0.5dB 間隔で、－12.5dB から－30.0dB は 2.5dB 間隔、－30dB から－60dB は 5.0dB 間隔で調整できます。

- アナログ録音をするときは、入力レベルが一番高いときに、レベル表示の － 4dB が時々点灯するように調整します。

4

MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」が表示され、調整が完了します。

！ヒント

リモコンの EDIT/NO/CLEAR ボタン、⏮/⏭ ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

CDからMDへのデジタル入力録音／アナログ入力録音を選ぶ

入力がCDで停止中

MD へのシンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に有効です。デジタル録音された CD-R を MD に録音するときは、アナログ入力録音を選んでください。ディスクを入れてから設定します。

- CD を録音する場合は、前もって DLA リンクの設定を「オン」にしておいてください。（☞47 ページ）

1

EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Rec Signal?」を表示させる

Rec Signal?

！ヒント

CD 表示のときに“DIGITAL”が点灯している場合は、現在の設定はデジタル入力録音となっています。点灯していない場合はアナログ入力録音です。

2

MULTI JOG ダイヤルを押す

現在の設定が表示されます。この場合は「Dig→Ana?」でアナログ入力録音にしますか？の意味です。

3

MULTI JOG ダイヤルを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEAR ボタンを押します。

ご注意

- CD DUBBING ボタンを押すと、設定がデジタルに戻りますので、アナログ録音をするときは、CD DUBBING ボタンを操作しないでください。
- CD を取り出したときも、設定がデジタルに戻ります。

！ヒント

リモコンの EDIT/NO/CLEAR ボタン、⏮/⏭ ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

曲番をつける–レベルシンクを切り換える

入力が MD で停止中

- レベルシンクとは、入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能です。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時レベルシンクがオンになっていると録音中自動的に曲番がつきます。（ただし無音部が短すぎるとつかないことがあります。）
- CD のデジタル録音のときは、レベルシンクのオン / オフに関係なく自動で曲番がつきます。
- 好きなところに曲番をつけたいときは、レベルシンクをオフにし、録音中に曲番をつけたい所で●REC ボタンを押します。（ボタンを押す間隔が短いと曲番がつかないことがあります。）
- レベルシンクがオンになっていると、入力信号の無音部が 60 秒以上続いた場合、自動的に録音を停止します。
- LEVEL-SYNC 表示が点灯しているときは、レベルシンクがオンの状態です。（オフにすると LEVEL-SYNC 表示は消えます。）
- ラジオやレコードを録音するときで、曲番がつきすぎる場合は、「Off」にしてください。

1

EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Level Sync?」を表示させる

`Level Sync?`

2

MULTI JOG ダイヤルを押す

`On → Off?`

「On → Off?」、または「Off → On?」が表示されます。

3

MULTI JOG ダイヤルを押す

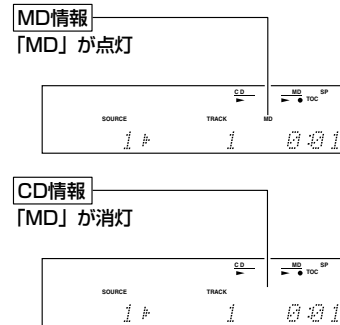
オフになったときは「LevelSyncOff」が、オンになったときは「LevelSyncOn」が表示されます。
この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEAR ボタンを押します。

！ヒント

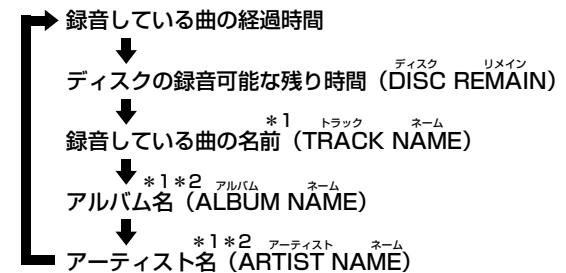
リモコンの EDIT/NO/CLEAR ボタン、|◀◀/▶▶| ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

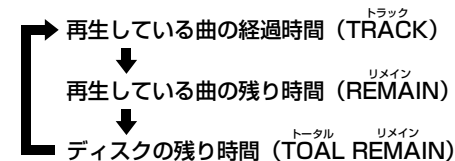
録音中に表示を切り換える

CD から MD に録音中、表示情報を切り換えることができます。

- INPUT◀/▶ ボタンを押すと、CD と MD の表示切り換えができます。

- CD/MD 表示切り換え後、DISPLAY ボタンを押すと、以下のように切り換わります。

MD情報のとき

録音している曲の経過時間
↓
ディスクの録音可能な残り時間（DISC REMAIN）
↓
録音している曲の名前＊1（TRACK NAME）
↓
アルバム名＊1＊2（ALBUM NAME）
↓
アーティスト名＊1＊2（ARTIST NAME）

※1 名前がついていないときは表示されません。
☞「MD、登録した放送局に名前をつける」（62 ページ）
※2 ディスクが Hi-MD モードのときのみ表示されます。

CD 情報のとき

MDグループ機能

1 枚の MD に入っている曲を好みのグループに分けることができます。Hi-MD や MDLP などを使用して、たくさんの曲が入っているディスクで使用すると便利です。

- グループにできるのは連続した曲です。（例：1 曲目～15 曲目）
- あとからグループに曲を追加することができます。
- 1 つの曲を複数のグループに入れることはできません。
- 本機でグループを作成した MD をグループ機能が備わっていない機器で再生するとディスクネームが正しく表示されません。
- グループを作成した MD をグループ機能が備わっていない機器で編集しないでください。

曲番について

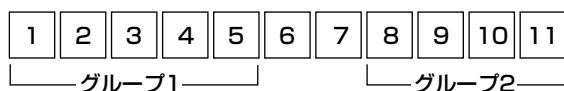
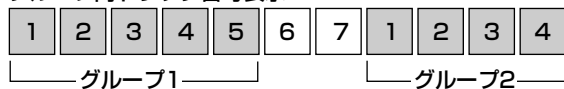
グループの中で 1 曲目から順番につきます。グループに入っていない曲は総曲数の表示になります。

通しトラック番号表示

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

グループ1　　　　グループ2

グループ内トラック番号表示

グループ1　　　　グループ2

グループ内で 1 から番号がふられます。

番号表示の表示方法を切り換える

お買い上げ時の設定では、通しトラック番号表示になっています。グループ内トラック番号表示にするには、下記の操作で切り換えてください。

GROUP（グループ） ボタンを 3 秒以上押し続ける

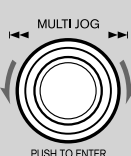
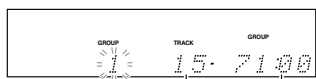
「Gr. Mode On（グループ モード オン）」と表示されます。
これでグループ内トラック番号表示になります。

！ヒント

- 元の通しトラック番号表示に戻すときも、同じ方法で操作してください。
- リモコンの GROUP（グループ） ボタンでも操作することができます。

グループの中の曲を選ぶ　入力が MD で停止中

■本体で選ぶ

1

GROUP（グループ） ボタンを押す

グループ番号が点滅します。

2

MULTI JOG（マルチ ジョグ） ダイヤルを回してグループを選ぶ

GROUP　TRACK　GROUP　1　15· 71:00

グループに含まれる曲数　グループ総再生時間

3

GROUP ボタンを 2 回押す

グループ番号の点滅が止まります。

4

MULTI JOG ダイヤルを回して、グループの中の曲を選ぶ

■リモコンで選ぶ

1

GROUP ボタンを押す

2

⏮/⏭ ボタンでグループを選ぶ

3

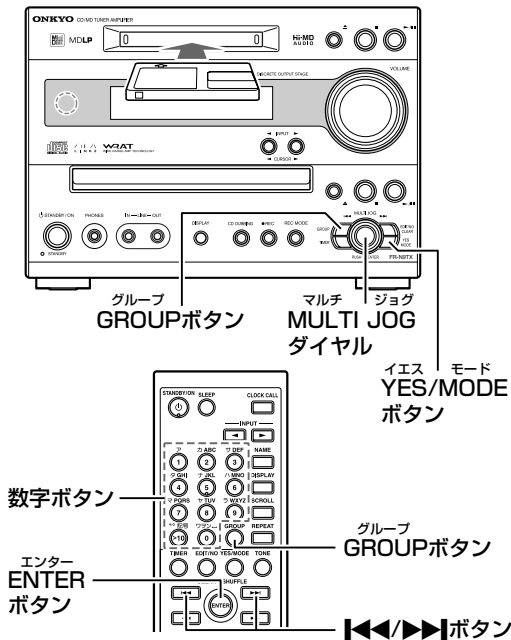
GROUP ボタンを 2 回押す

グループ番号の点滅が止まります。

4

⏮/⏭ ボタンでグループの中の曲を選ぶ

MDグループを再生する

ディスクにグループを作成しておく必要があります。
(☞52 ページ)

MDグループ再生　入力が MD で停止中

選択したグループから最後までを再生します。

1

GROUP ボタンを押す

2

MULTI JOGダイヤルを回して、再生したいグループを選ぶ

3

MULTI JOG ダイヤルを押す

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

！ヒント

リモコンの GROUP ボタン、|◀◀/▶▶| ボタンと ENTER ボタンまたは数字ボタンでも操作することができます。

MD1グループ再生　入力がMDで停止中

選択したグループのみ再生します。
停止させてから操作します。また、「MEM」や「RDM」が点灯しているときは、YES/MODE ボタンをくり返し押して、表示を消灯させてください。

1

GROUP ボタンをくり返し押して、「1GR」を点灯させる

グループ番号が点滅します。

2

MULTI JOGダイヤルを回して、グループを選ぶ

3

MULTI JOG ダイヤルを押す

再生が始まります。
- 再生が終わると、MD1 グループ再生モードは解除されます。

！ヒント

リモコンの GROUP ボタン、|◀◀/▶▶| ボタン、ENTER ボタンまたは ▶ ボタンでも操作することができます。

MDグループスキップ

再生中、グループごとにスキップをすることができます。

1

再生中に GROUP ボタンを押す

2

MULTI JOGダイヤルを回して、グループを選ぶ

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

！ヒント

リモコンの GROUP ボタン、|◀◀/▶▶| ボタンと ENTER ボタンまたは数字ボタンでも操作することができます。

ご注意

- MD1 グループ再生中は、操作できません。
- 「1GR」、「MEM」、「RDM」インジケーターが点灯しているときは、操作できません。

MDグループ機能

MDグループを作成／解除する

1GR、MEM、RDMが点灯していると編集できません。通常再生モード（表示を消灯）にしてください。

グループセット　入力がMDで停止中

グループに入っていない複数の曲をまとめて新規のグループに入れます。

1

MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる最初の曲を選ぶ

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G. Set?」を表示させる

3

MULTI JOGダイヤルを押す

4

MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる最後の曲を選ぶ

！ヒント

連続した曲（Tr）のみの選択になります。

離れた曲（Tr）は、Move（☞55ページ）やグループイン（☞52ページ）機能を使用してください。

5

MULTI JOGダイヤルを押す

グループが作成され、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、⏮/⏭ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

グループイン　入力がMDで停止中

グループに入っていない曲を、すでにあるグループに入れます。

1

MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる曲を選ぶ

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G. In?」を表示させる

TRACK
10Tr G.In?

3

MULTI JOGダイヤルを押す

4

MULTI JOGダイヤルを回して、どこのグループに入れるかを選ぶ

TRACK
10Tr→1G?

5

MULTI JOGダイヤルを押す

選んだグループの最後に入り、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、⏮/⏭ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

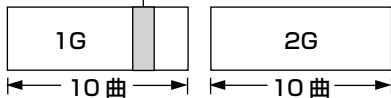
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	（通しトラック番号表示）
1	2	3	4	1	2	3	4	5	10	（グループ内トラック番号表示）
グループ1				グループ2						

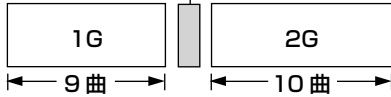
↓

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	（通しトラック番号表示）
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	（グループ内トラック番号表示）
グループ1					グループ2					

グループアウト　入力がMDで停止中

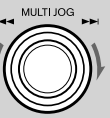
すでにグループに入っている曲をグループから外します。

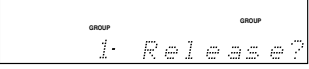
1 MULTI JOGダイヤルを回して、グループから外す曲を選ぶ

2 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G.Out?」を表示させる

3 MULTI JOGダイヤルを押す

選んだ曲がグループから外れ、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

選択グループの解除　入力がMDで停止中

選んだグループのみ解除します。

1 GROUPボタンを押す

2 MULTI JOGダイヤルを回して、解除するグループを選ぶ

3 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Release?」を表示させる

4 MULTI JOGダイヤルを押す

選んだグループのみ解除され、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

MDグループ機能

MDグループを編集/消去する

グループを移動してグループを入れ換える、2 つのグループをまとめて 1 つにする、グループ内の曲を消去する、の 3 つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

グループを消去する－ G.Erase
指定したグループに含まれる曲を全て消去します。

グループを移動する－ G.Move
グループを移動する機能です。

グループをつなぐ－ G.Combine
前のグループとつなぎ 1 つのグループにまとめる機能です。

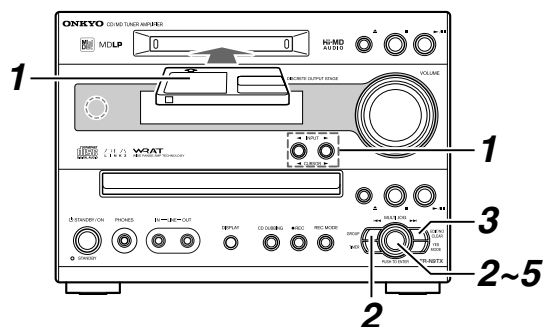
編集の組み合わせ

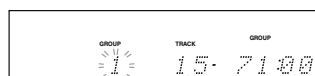
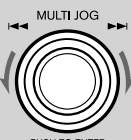
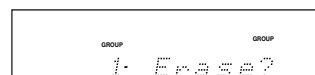
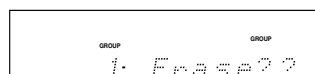
離れた 2 つのグループをつなぐ
（G.Move ＋ G.Combine）
G.Combine は選んだグループと直前のグループをつなぐ機能です。離れた 2 つのグループをつなぐときは、G.Move 機能でグループを移動したあとに、G.Combine 機能を使います。

編集 / 消去についてのご注意

- 編集 / 消去の情報は、MD を取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどに MD の目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC 表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。
- MEM または、RDM、1GR 表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モードにしてください。

選択したグループに含まれる曲を全て消す－ G.Erase　入力が MD で停止中

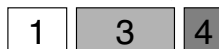
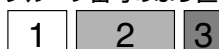
途中で中止するときは、MD の■ボタンを押します。

1 MD をセットして、入力を MD にする

2 GROUP ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して消すグループを選ぶ

選択したグループが点滅します。

3 EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Erase?」を表示させる

4 MULTI JOG ダイヤルを押す

再確認のため「Erase??」（本当に消していいですか？）が表示されます。

5 MULTI JOG ダイヤルを押す

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

グループ内の曲が消され、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。
グループ番号は新たにふり直されます。

！ヒント

リモコンの GROUP ボタン、⏮/⏭ ボタン、EDIT/NO/CLEAR ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

グループを移動する－ G.Move

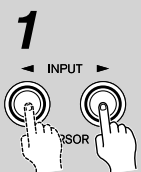
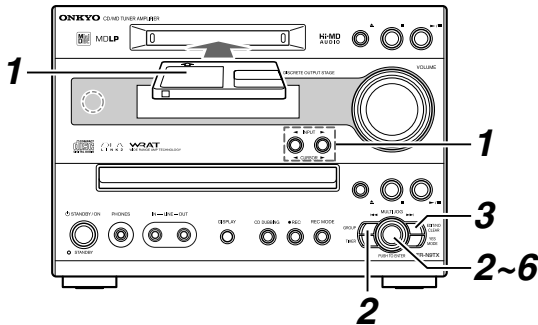
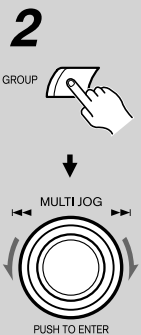
入力が MD で停止中

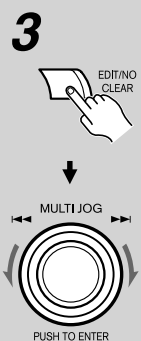
途中で中止するときは、MD の■ボタンを押します。

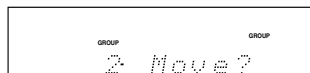
1

INPUT

MD をセットして、入力を MD にする

2

GROUP ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して移動するグループを選ぶ

3

EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Move?」を表示させる

4

MULTI JOG ダイヤルを押す

移動するグループ番号と移動先のグループ番号が表示されます。

5

MULTI JOG

PUSH TO ENTER

必要なときは、MULTI JOG ダイヤルを回して移動先のグループ番号を変える

6

PUSH TO ENTER

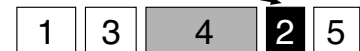
MULTI JOG ダイヤルを押す

指定した曲が移動し、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。グループ番号は新たにふり直されます。

グループの移動

グループ番号のふり直し

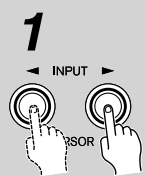
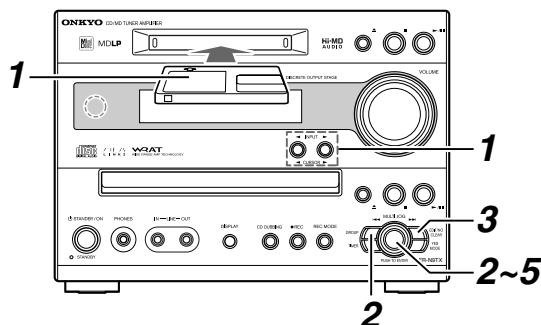
1 2 3 4 5

！ヒント

リモコンの GROUP ボタン、⏮/⏭ ボタン、EDIT/NO/CLEAR ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

MDグループ機能

グループをつなぐ ー G.Combine

入力が MD で停止中

- 前のグループにグループ名がついている場合、そのグループ名が Combine 後のグループ名になります。
- 途中で中止するときは、MD の■ボタンを押します。

1 MD をセットして、入力を MD にする

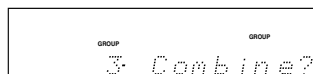
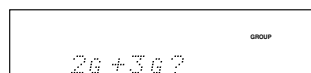
2 GROUP ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回してつなぐグループを選ぶ

選んだグループが、1 つ前のグループとつながることになります。したがって、最初のグループは選ぶことはできません。

3 EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して、「Combine?」を表示させる

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

4 MULTI JOG ダイヤルを押す

GROUP
2G +3G ?

選んだグループの番号と、その直前のグループ番号が表示されます。

5 MULTI JOG ダイヤルを押す

グループがつながり、「Complete」（完了）が表示された後、元の表示に戻ります。グループ番号は新たにふり直されます。

グループ番号のふり直し

1	2	3	4

！ヒント

リモコンの EDIT/NO/CLEAR ボタン、|◀◀/▶▶| ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

MDを編集 / 消去する

曲を移動して曲番を入れ換える、1 つの曲を 2 つに分ける、2 つの曲をまとめて 1 つにする、曲を消去する、MD の録音すべてを消去する、の 5 つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

全曲消去する – All Erase（オール イレーズ）
MD に記録されているすべての曲とタイトルを消去します。(BLANK DISC（ブランク ディスク）になります。)

曲を消去する – Erase（イレーズ）
1 曲選んで消去する機能です。

曲を移動する – Move（ムーブ）
1 曲選んで移動する機能です。

曲を分ける – Divide（ディバイド）
1 曲を 2 つに分ける機能です。

曲をつなぐ – Combine（コンバイン）
1 曲選び、その 1 つ前の曲とつないで 1 曲にまとめる機能です。

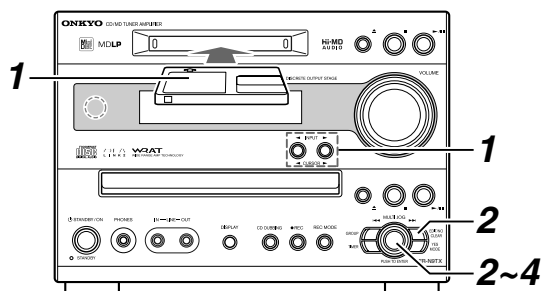
編集/消去機能の組み合わせ

曲の一部を消去する
(Divide ＋ Erase)
消去したい部分を Divide 機能で（またはこの機能をくり返して）分けてから、Erase 機能で消去します。

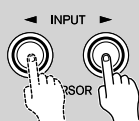
離れた 2 つの曲をつなぐ
(Move ＋ Combine)
Combine は、選んだ曲と直前の曲をつなぐ機能です。離れた 2 つの曲をつなぐときは、Move 機能で曲を移動したあとに、Combine 機能を使います。

編集 / 消去についてのご注意

- 編集 / 消去の情報は、MD を取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどに MD の目次部分（TOC（トック））に書き込まれます。TOC 表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。
- MEM（メモリー）または、RDM（ランダム）、1GR（グループ）表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モード（表示を消灯）にしてください。
- グループ作成された MD を編集すると、グループ情報が変わることがあります。

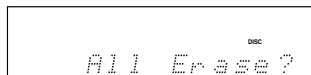
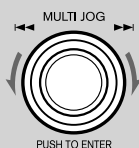
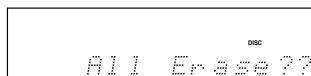
全曲消去する – All Erase（オール イレーズ）

入力が MD で停止中

途中で中止するときは、MD の■（ストップ）ボタンを押します。

1

MD をセットして、入力を MD にする

2

EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して「All Erase?（オール イレーズ?）」（MD の録音をすべて消しますか？）を表示させる

3

MULTI JOG ダイヤルを押す

再確認のため、「All Erase??（オール イレーズ??）」（本当に消去していいですか？）が表示されます。

4

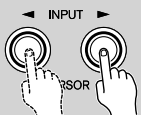
MULTI JOG ダイヤルを押す

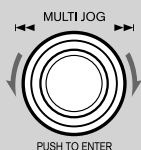
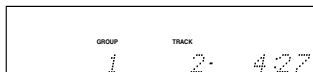
「Complete（コンプリート）」（完了）が表示され、「MD Blanc Disc（ブランク ディスク）」が表示されます。

! ヒント

リモコンの EDIT/NO/CLEAR ボタン、|◀◀/▶▶| ボタン、ENTER（エンター）ボタンでも操作することができます。

1曲選んで消す－ Tr Erase

入力が MD で停止中 / 一時停止中

途中で中止するときは、MD の■ボタンを押します。

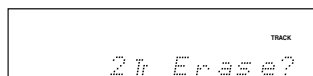
1 MD をセットして、入力を MD にする

2 MULTI JOG ダイヤルを回して消す曲を選ぶ

3 EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Tr Erase?」を表示させる

4 MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」（完了）が表示され、元の表示に戻ります。
曲番は新たにふり直されます。

！ヒント

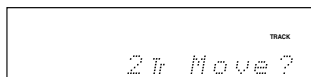
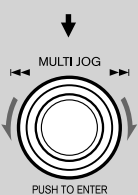
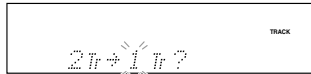
リモコンの ⏮/⏭ ボタン、EDIT/NO/CLEAR ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

曲を移動する－ Tr Move

入力が MD で停止中 / 一時停止中

途中で中止するときは、MD の■ボタンを押します。

1 MD をセットして、入力を MD にする

2 MULTI JOG ダイヤルを回して移動する曲を選ぶ

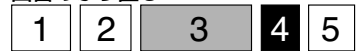
3 EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Tr Move?」を表示させる

4 MULTI JOG ダイヤルを押す

移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。

5 必要なときは、MULTI JOG ダイヤルを回して移動先の曲番を変える

6 MULTI JOG ダイヤルを押す

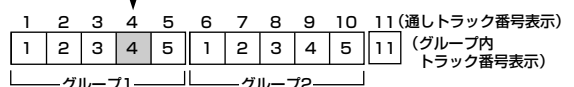
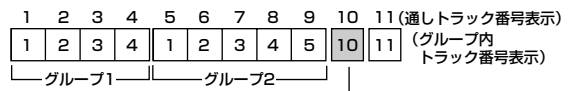
「Complete」(完了)が表示された後、元の表示に戻ります。
曲番は新たにふり直されます。

- グループに入っている曲はグループ内でしか移動できません。他のグループに移動したい場合は、一度グループアウト機能でグループから出してから、新しいグループに移動します。
- グループに入っていない曲はグループの中に移動することができます。
- 曲を移動すると、曲順が入れ換わります。

！ヒント

リモコンの ⏮/⏭ ボタン、EDIT/NO/CLEAR ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

！ヒント

曲の移動は、通しトラック番号表示のときはグループを越えて移動させることができますが、グループ内トラック番号表示のときは、グループ内でのみ移動させることができます。
表示の切り換えについては、50 ページをご覧ください。

グループのある MD

グループ 1 の 4Tr になり、元の 4Tr は 5Tr になります。

曲を分ける－ Tr Divide

入力が MD で再生中 / 一時停止中

- 曲名がついているとき（☞62 ページ）は、前の曲にのみ名前が残ります。
- 途中で中止するときは、MD の■ボタンを押します。

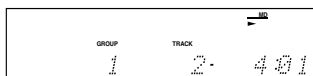
1

MD をセットして、入力を MD にする

2

MULTI JOG ダイヤルを回して分ける曲を選び、MULTI JOG ダイヤルを押す

分ける曲が再生されます。

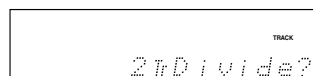
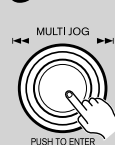
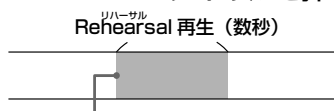
3

分けたいところで MD の ►/II ボタンを押す

一時停止になります。
リモコンの ◀◀/▶▶ ボタンで早戻し / 早送りができます。

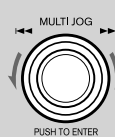
4

EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Tr Divide?」を表示させる

TRACK
2 TrDivide?

5

MULTI JOG ダイヤルを押す

「Rehearsal」（確認再生中）と「Position OK?」（分けてもいいですか？）が交互に表示され、曲が分かれる位置より数秒間くり返し再生されます。

6

音声を聞きながら MULTI JOG ダイヤルを回し、分ける位置の微調整をする

その曲内で数値－ 45 ～＋ 45（REC MODE が SP 時 ± 約 3 秒）の間で調整できます。

分かれる位置が微調整で前後に移動します。

Position+11

7

MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」（完了）が表示された後、分けられた曲の再生が始まります。
曲番は新たにふり直されます。

曲の分割

1 2 3 4

1 ■ ■ 3 4

曲番のふり直し

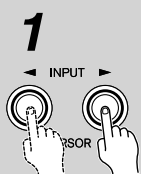
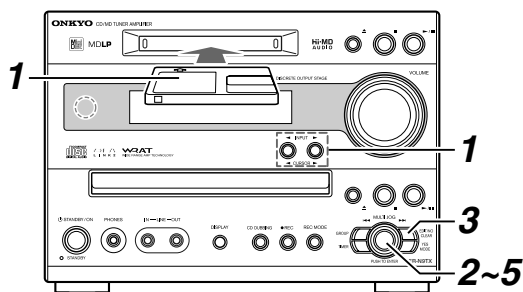
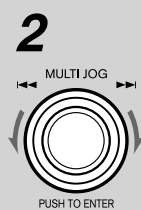
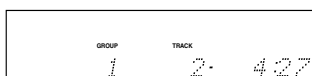
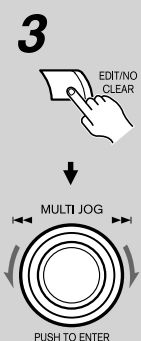
1 2 3 4 5

！ヒント

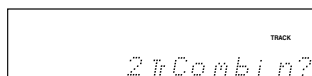
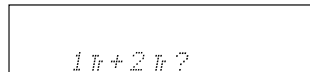
リモコンの数字ボタン、EDIT/NO/CLEAR ボタン、|◀◀/▶▶| ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

曲をつなぐ – Tr Combine

入力が MD で停止中 / 再生中 / 一時停止中

- 前の曲に曲名がついている場合、その曲名が Combine 後の曲名になります。
- 途中で中止するときは、MD の■ボタンを押します。

1 MD をセットして、入力を MD にする

2 MULTI JOG ダイヤルを回してつなぐ曲を選ぶ

選んだ曲が、1 つ前の曲とつながることになります。したがって、1 曲目は選ぶことはできません。

3 EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Tr Combin?」を表示させる

4 MULTI JOG ダイヤルを押す

1Tr+2Tr?

選んだ曲の番号と、その直前の曲番が表示されます。

5 MULTI JOG ダイヤルを押す

「Complete」（完了）が表示され、元の表示に戻ります。
曲番は新たにふり直されます。

！ヒント

リモコンの |◀◀/▶▶| ボタン、EDIT/NO/CLEAR ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

ご注意

- TrCombine は、通しトラック番号表示のときはグループを越えてつなぐことができますが、グループ内トラック番号表示のときは、グループ内でのみつなぐことができます。グループを越えてつなごうとすると、「Impossible」（できません）」の表示が出ます。番号表示の切り換えについては、50 ページをご覧ください。
- Combine は同じ録音モードで録音された曲のみ可能です。
  例：Mono モードで録音した曲と LP2 モードで録音した曲をつなぐことはできません。また、デジタル録音で録音した曲と、アナログ録音で録音した曲をつなぐことはできません。
- 下表のように 1 曲の時間が短いと、曲をつなげないことがあります。

MD モード	曲の長さ
SP モード LP2/Mono モード LP4 モード	12 秒以下 24 秒以下 48 秒以下
Hi-MD モード	曲の長さ
PCM モード Hi-SP モード Hi-LP モード	9 秒以下 8 秒以下 32 秒以下

MD、登録した放送局に名前をつける

MD にはディスク名や曲名、FM や AM の登録した放送局にはチャンネル名をアルファベットやカタカナでつけることができます。Hi-MD ディスクのときはアーティスト名、アルバム名をつけることができます。

登録した放送局に名前をつける

FM または AM のチャンネルを選び、右項または 64 ページで「文字を入力する」を行います。8 文字までの名前がつけられます。

MDにディスク名をつける

❶ MD をセットし、入力を MD にする
❷ 右項または 64 ページで「文字を入力する」を行う

MDに曲名をつける

❶ MD をセットし、入力を MD にする
❷ MULTI JOG ダイヤルを回し、名前をつけたい曲を選ぶ
❸ 右項または 64 ページで「文字を入力する」を行う

MDにアルバム名をつける(Hi-MD のときのみ)

❶ MD をセットし、入力を MD にする
❷ MULTI JOG ダイヤルを回し、名前をつけたい曲を選ぶ
❸ DISPLAY ボタンを押して、「ALBUM NAME」を表示する
❹ 右項または 64 ページで「文字を入力する」を行う

MDにアーティスト名をつける(Hi-MD のときのみ)

❶ MD をセットし、入力を MD にする
❷ MULTI JOG ダイヤルを回し、名前をつけたい曲を選ぶ
❸ DISPLAY ボタンを押して、「ARTIST NAME」を表示する
❹ 右項または 64 ページで「文字を入力する」を行う

MDにグループ名をつける（グループがあるとき）

❶ MD をセットし、入力を MD にします。
❷ GROUP ボタンを押してから、MULTI JOG ダイヤルを回して名前をつけたいグループを選ぶ
❸ 右項または 64 ページで「文字を入力する」を行う

ご注意

- 誤消去防止孔の開いた MD や、再生専用 MD には名前はつけられません。(☞76 ページ)
- ディスクに名前をつけるときは、曲を選択していないかご確認ください。曲を選択しているときは、MD の■ボタンを押してください。
- 曲に名前をつけたいときは、録音中、再生中にもつけることができます。次の曲に移ってしまうと、文字入力が正しくできない場合があります。グループ名は録音中にはつけられません。
- 録音中、MD に曲名をつける場合は入力を MD に切り換えてから文字を入力してください。

- MEM、RDM、1GR の表示が点灯している場合は、ディスク名はつけることができません。
- 名前などの情報は、MD を取り出すとき、スタンバイ状態になるとき、録音停止時などに MD の目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC 表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。

本体操作ボタンで文字を入力する

1

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

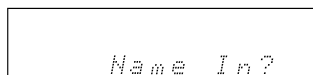
EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Name In?」を表示させる

入力するものにより、表示は次のような種類があります。

- ディスクネームを入力する場合：「Disc Name In?」
- トラックネーム、アーティストネーム、アルバムネームを入力する場合：「X Tr Name In?」
- グループネームを入力する場合：「X Name In?」

Name In?

2

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

MULTI JOG ダイヤルを押す

文字入力モードに入ります。

3

DISPLAY

DISPLAY ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

押すたびに、以下の選択ができます。

文字の種類の表示

→A（大文字のアルファベット）
↓
a（小文字のアルファベット）
↓
1（数字）
↓
ア（カタカナ）
↓
♪（カンタンネーム）※1

※1 放送局に名前をつけるときには、表示されません。

4

MULTI JOG ダイヤルを回して文字を選び、ダイヤルを押して確定する

この手順をくり返して名前を入力します。途中で文字の種類を変える場合は、手順 **3** を行います。

文字を訂正 / 消去する場合は、65 ページをご覧ください。

5

入力が終わったら、YES/MODE ボタンを押す

「Complete」が表示され、文字入力が完了します。名前の入力を途中でやめるときは EDIT/NO/CLEAR ボタンを 2 秒以上押します。

入力できる文字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` < > # ＄ % & * = ; : + − / ( ) ? ! ' " , . ␣(空白)
(挿入)
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

表示されるカンタンネーム
（放送局に名前をつけるときは表示されません。）
MULTI JOG ダイヤルを回して選んでください。

BALLAD	POPS	African	Anthology	Heavy
BLUES	REGGAE	American	Best of ␣	Hit Songs
CLASSIC	ROCK	Asian	[of の後ろには空白(␣)が 1 文字分入ります。]	Omnibus
DANCE	SOUL	British		Selection
FUSION	TECHNO	Euro	Collection	Special
JAZZ	VOCAL	German	Favorite	Super
LIVE		Japanese	Happy	␣（空白）

MDにつけた名前をコピーする

アーティスト名やアルバム名など、複数の曲に同じ名前をつけるのに便利です。曲にアーティスト名やアルバム名などをつけた後、他の曲にも同じアーティスト名やアルバム名をつけることができます。
コピーできるのは、ディスク名、曲名、アーティスト名、アルバム名、グループ名で、それぞれ最後につけた名前がコピーされます。
ここでは、アーティスト名をコピーする操作を説明します。

❶ **曲にアーティスト名をつける**

❷ **同じアーティスト名をつけたい曲を選び、DISPLAY ボタンを押して、「ARTIST NAME」を表示させる**

❸ **EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して、「Name Copy?」を表示させる**

❹ **MULTI JOG ダイヤルを押す**
同じアーティスト名がつきます。

！ヒント

- 手順 ❷ で、ディスク名、アルバム名、曲名、グループ名を表示させると、それぞれの名前がコピーされます。
- リモコンの DISPLAY ボタン、EDIT/NO/CLEAR ボタン、⏮/⏭ ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

MD、登録した放送局に名前をつける

リモコンで文字を入力する

1

（MD の場合）

26 ページを参照して名前をつけたい項目を表示させておきます。
リモコンでは ◀◀/▶▶ ボタンで曲を選べます。

NAME ボタンを押す

「Name In?」と表示されるので、
ENTER ボタンを押します。

1

（放送局の場合）

NAME ボタンを押す

2

DISPLAY ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。SCROLL ボタンを押すと逆順に切り換わります。

アルファベットを入力するには

数字ボタンを押すごとに記載されている文字が切り換わり表示されます。たとえば、② ボタンは押すごとに A → B → C → A と切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンの ENTER ボタンを押してください。

数字を入力するには

数字ボタンを押すと数字が表示されます。

カタカナを入力するには

数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。

たとえば、① ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンの ENTER ボタンを押してください。

カンタンネームを入力するには（放送局に名前をつけるときは、表示されません。）

数字ボタンを押すごとにボタンの上のアルファベットが頭文字になるカンタンネームが切り換わり表示されます。たとえば、③ ボタンは押すごとに DANCE → Euro → Favorite → FUSION などと切り換わりますので、希望のカンタンネームを表示させてリモコンの ENTER ボタンを押してください。

記号を入力するには

>10 ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（ >10 ボタンは、␣ ./ ＊ -,!?&’ () が、⓪ ボタンはスペースが入力できます。）希望の数字または記号を表示させてリモコンの ENTER ボタンを押してください。

リモコンの ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して文字を選び、リモコンの ENTER ボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意

リモコンの数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
文字を挿入するときの「▯」や、その他記号の入力は、リモコンの ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して選んでください。

3

NAME ボタンを押して入力を終了する

文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」(62 ページ)の手順 ***1*** と ***2*** を行ってください。

❶ **本体の CURSOR◀/▶ ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる**

❷ ● **訂正するときは、「文字を入力する」(63 ページ)の手順 *3*、*4* にしたがって正しい文字を入力する**
● **消去するときは、EDIT/NO/CLEAR ボタンまたはリモコンの CLEAR ボタンを押す**

ご注意

- 続けて文字を挿入する場合は 63 ページ手順 ***3***、***4*** を、終わるときは手順 ***5*** を行います。
- EDIT/NO/CLEAR ボタンを 2 秒以上押し続けると消去せずに元の表示に戻ります。

! ヒント

リモコンの NAME ボタン、◀◀/▶▶ ボタン、数字ボタンでも操作することができます。

文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」(62 ページ)の手順 ***1*** と ***2*** を行ってください。

❶ **本体の CURSOR◀/▶ ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる**

❷ **MULTI JOG ダイヤルを左に回して「M」を表示し、ダイヤルを押す**

❸ **「文字を入力する」の手順 *3*、*4* にしたがって挿入する文字を入力する**

続けて文字を挿入する場合は 63 ページ手順 ***3***、***4*** を、終るときは手順 ***5*** を行います。

! ヒント

リモコンの NAME ボタン、◀◀/▶▶ ボタン、数字ボタンでも操作することができます。

放送局につけた名前を消去する

❶ **入力を AM または FM にする**

❷ **MULTI JOG ダイヤルを回して名前を消去したい放送局を選ぶ**

❸ **EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して「Name Erase?」を表示させる**

❹ **MULTI JOG ダイヤルを押す**
「Complete」と表示され名前が消去されます。

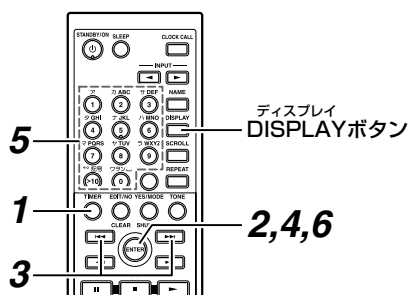
! ヒント

リモコンの FM/AM ボタン、|◀◀/▶▶| ボタン、EDIT/NO/CLEAR ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

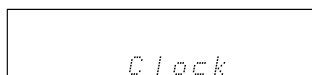
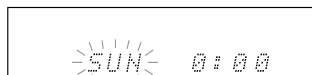
曜日と現在時刻を設定する

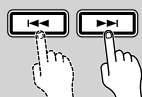
お好みにより、12時間(am/pm)表示と24時間表示が選べます。(本書では24時間表示の設定方法で説明しています。)

1

TIMER(タイマー)ボタンを(くり返し)押して、「Clock(クロック)」を表示させる

すでに時計が働いているときは、TIMERボタンを押すと、「Timer 1」と表示されるので、TIMERボタンをくり返し押して「Clock」を表示させます。

`Clock`

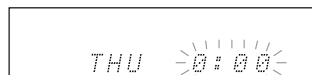
2

ENTER(エンター)ボタンを押す

曜日入力に入ります。

3

◀◀/▶▶ボタンを押して、今日の曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4

ENTERボタンを押して、曜日を確定する

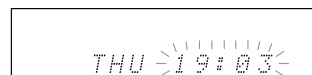
`THU 0:00`

時間入力に入ります。

5

数字ボタンを押して、時刻を合わせる

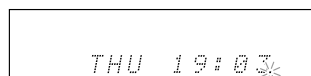
数字ボタンで4桁(時、分)をつづけて入力してください。

24時間表示

`THU 19:03`

- am/pm表示のときは、>10ボタンでamとpmが切り換わります。
- 24時間表示のときは、>10ボタンを押すと12時間後の設定になります。
- ◀◀/▶▶ボタンで時刻を合わせることもできます。

6

時報に合わせてENTERボタンを押す

`THU 19:03`

時計が始動し、秒点が点滅を始めます。

!ヒント

本体のTIMER(タイマー)ボタン、MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルでも設定することができます。

時計合わせを中断するときは

EDIT(エディット)/NO(ノー)/CLEAR(クリア)ボタンを押します。

曜日、時刻を表示させる

リモコンのCLOCK(クロック) CALL(コール)ボタンを押します。
再度CLOCK CALLボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間表示した後、消灯します。

12時間表示/24時間表示を切り換えるには

時刻表示中にDISPLAY(ディスプレイ)ボタンを押します。

STANDBY(スタンバイ)時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のSTANDBY(スタンバイ)/ON(オン)ボタンを2秒以上押します。

ご注意

時刻表示を「あり」にすると「なし」のときより待機電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleep タイマー、Once タイマー、Every タイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは 4 つまで設定することができます。

タイマーの種類

- タイマー Play（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマー Rec（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
- タイマー Rec は本機の MD、または本機に接続した RI 端子付きのオンキヨー製カセットテープデッキに録音します。入力表示を正しく設定してください。

再生機器の設定

AM、FM、CD、MD または本機に接続しているオンキヨー製カセットテープデッキなど、RI 端子のあるオンキヨー製機器が選択できます。（表示名称を正しく設定する必要があります。☞73 ページ）
タイマー Rec（録音）は FM、AM、または DOCK/CDR（FR-N7TX では DOCK)、TAPE、LINE、DIGITAL に接続したタイマー機能のある外部機器から選択して録音できます。

曜日の設定

タイマーは 1 回だけ働く「Once タイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Every タイマー」があります。

また、Every タイマーには「Everyday（毎日)」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例）

Timer 1　毎朝の目覚ましがわりに
タイマー Play（再生）—Every—Everyday（毎日）—7:00 ～ 7:30

Timer 2　毎週のラジオ放送を録音
タイマー Rec(録音) — Every — Days Set—MON（月曜日）～ SAT（土曜日）—15:10 ～ 15:30

Timer 3　今週の日曜だけラジオ放送を録音
タイマー Rec（録音）—Once—SUN（日曜日）—10:00 ～ 12:00

ご注意

- TIMER ボタンを押すと現在使用中のタイマーは解除され、タイマーオフの時間になっても電源はスタンバイ状態になりません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。
- タイマー Rec（録音）中は、MUTING 機能が働いて音声がごく小さくなります。タイマー Rec 中に音声を聞くには、リモコンの MUTING ボタンを押してください。

タイマー表示について

タイマーが 1 つでも設定されていると、TIMER 表示が点灯します。数字が点灯していたら、設定されている状態です。□が点灯している数字はタイマー Rec が設定されています。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が小さい方が優先されます。

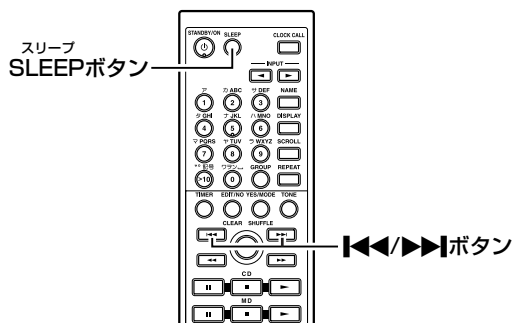
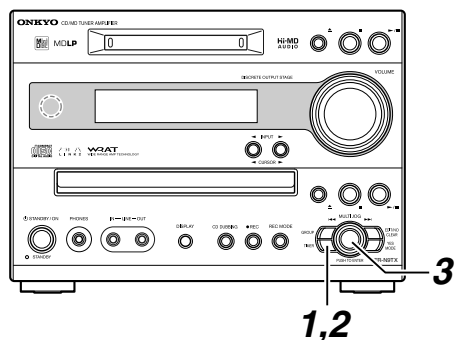
Timer 1　9：00 ー 10：00
Timer 2　8：00 ー 10：00
優先 (タイマー開始時刻が早い方)
Timer 3　12：00 ー 13：00
優先（タイマー番号が小さい方）
Timer 4　12：00 ー 12：30

Sleepタイマーについて

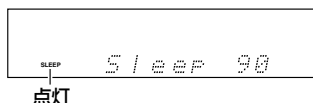
設定した時間がくると自動的にスタンバイ状態になります。

タイマー機能を使う

*Sleep*タイマーを使う

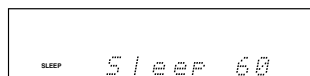
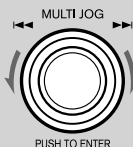
■リモコンで操作する

■本体で操作する

SLEEP ボタンを押す

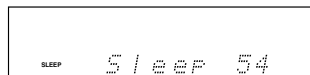
SLEEP 表示が点灯し、表示部には「Sleep 90」と表示され、90 分後に電源が切れる設定になります。
ボタンを押すごとに 10 分単位で時間が短くなります。

点灯

1 分単位で時間を設定したいときは、◀◀/▶▶/ ボタンを押します。
1 ～ 99 分の範囲で設定することができます。設定した時間が約 8 秒間表示された後、元の表示に戻ります。

1 TIMER ボタンを 1 秒以上押す

「Sleep 90」が表示され、90 分後に電源が切れる設定になります。

2 TIMER ボタンを押す

押すごとに、10 分ずつ時間が短くなります。
90 → 80 → ···· → 10 → off

3 1 分単位で時間を設定したいときは、MULTI JOG ダイヤルを回す

SLEEP Sleep 54

右に回すと 1 分ずつ増え、99 分まで設定できます。左に回すと 1 分ずつ減り、1 分まで設定できます。

残り時間を確認するには

SLEEP ボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が 10 分以下の表示のときに再び SLEEP ボタンを押すと SLEEP タイマーは解除されます。

Sleep タイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまで SLEEP ボタンを（くり返し）押します。

！ヒント

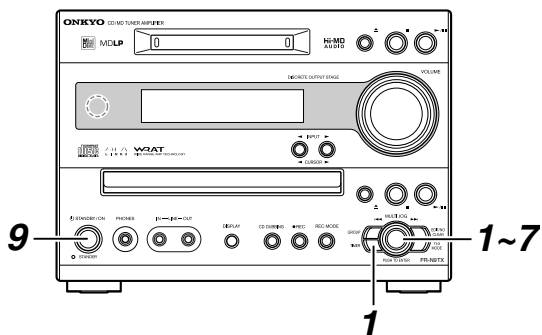
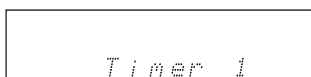
「CD ダビング」中にスリープタイマーの設定時間になった場合、「CD ダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。
この機能を利用して、寝る前や外出前に CD ダビングを始めることができます。

タイマーを予約する

FM、AM のタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。(☞32、33 ページ)

ご注意

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中 60 秒間何も操作しないと元の表示に戻ります。

1

<タイマー番号の選択>

Timer 1

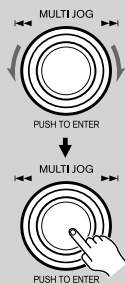
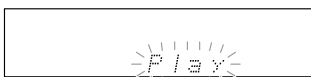
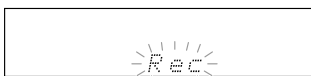
TIMER ボタンを(くり返し)押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

Timer 1 から Timer 4 のいずれかを選び、MULTI JOG ダイヤルを押します。

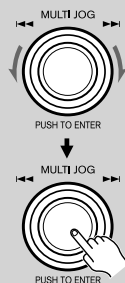
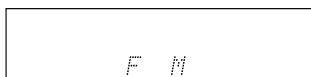
「Clock」しか表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、曜日と時刻を設定してください。(☞66 ページ)

2

<タイマー種類の選択>

または

MULTI JOG ダイヤルを回して、タイマー Play(再生)またはタイマー Rec(録音)を選ぶ

タイマーの種類が表示されたら MULTI JOG ダイヤルを押します。
タイマー Rec は本機 MD または本機に接続しているテープデッキに録音されます。録音中は、MUTING 機能が働きます。

3

<再生機器の選択>

MULTI JOG ダイヤルを回して、再生する機器を選ぶ

再生する機器が表示されたら MULTI JOG ダイヤルを押します。
タイマー Rec(録音)の時は FM、AM、DOCK、TAPE、LINE、DIGITAL の中から選べます。

FM または AM を選んだ場合

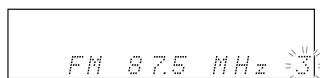
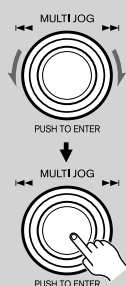
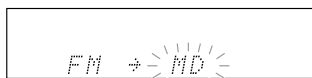
MULTI JOG ダイヤルを回して、登録したチャンネルを選ぶ

登録したチャンネルが表示されたら MULTI JOG ダイヤルを押します。

FM 87.5 MHz 3

4

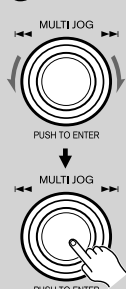
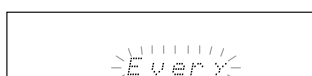
＜録音機器の選択＞（タイマー Rec 設定時のみ）

FM → MD

MULTI JOG ダイヤルを回して、録音する機器を選ぶ

MD または TAPE から選ぶことができます。

- TAPE の場合は、入力名称を他のものに変更しているときは、選ぶことができません。

録音する機器が表示されたら MULTI JOG ダイヤルを押します。

5

＜曜日の設定＞

MULTI JOG ダイヤルを回して、“Once”または“Every”を選ぶ

“Once”を選ぶと 1 度だけ、“Every”を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだら MULTI JOG ダイヤルを押します。

“Once”の場合：設定した曜日に 1 度だけ働きます。

SUN

MULTI JOG ダイヤルを回して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたら MULTI JOG ダイヤルを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

MON	（月曜日）	FRI	（金曜日）
TUE	（火曜日）	SAT	（土曜日）
WED	（水曜日）	SUN	（日曜日）
THU	（木曜日）		

“Every”の場合：設定した曜日に毎週働きます。

MULTI JOG ダイヤルを回して、曜日を選ぶ

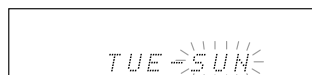
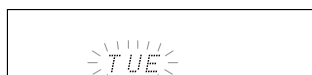
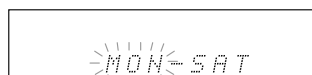
曜日を表示させたら MULTI JOG ダイヤルを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ ⇕
SUN（日） ⇔ Days Set［曜日の範囲をお好みで設定します。］ ⇔ Everyday ⇔ SAT（土）

「Days Set」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。

MON-SAT

TUE

TUE-SUN

① **MULTI JOG ダイヤルを回して、最初の曜日を選ぶ**

曜日を表示させたら MULTI JOG ダイヤルを押します。

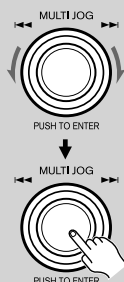
② **MULTI JOG ダイヤルを回して、最後の曜日を選ぶ**

曜日を表示させたら MULTI JOG ダイヤルを押します。

この場合、毎週火曜から日曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

6

＜開始時刻の設定＞

On 7:29

MULTI JOG ダイヤルを回して、タイマー開始時刻を設定する

時刻を表示させたら MULTI JOG ダイヤルを押します。
リモコンの数字ボタンでも設定できます。
7：29 を設定するには、7、2、9 と押します。

- am/pm 表示のときは、＞10 ボタンで am と pm が切り換わります。

！ヒント

- 開始時刻（On）を設定すると終了時刻（Off）は自動的に 1 時間後の表示になります。
- 本機 MD にタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので録音開始時刻を 1 分程早めに設定してください。

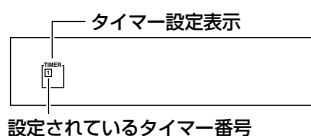
7

MULTI JOG
PUSH TO ENTER
MULTI JOG
PUSH TO ENTER

＜終了時刻の設定＞

MULTI JOG ダイヤルを回して、タイマー終了時刻を設定する

時刻を表示させたら MULTI JOG ダイヤルを押します。

8

＜音量の設定＞（タイマー Play 設定時のみ）

MULTI JOG ダイヤルを回して、音量を設定する

お買い上げ時の設定は 10 です。音量を表示させたら MULTI JOG ダイヤルを押します。

通常使用している音量と同じ音量で再生したいときは
MULTI JOG ダイヤルを左に回して「Timer Vol. off」にしてください。スタンバイする前と同じ音量で再生できます。

9

STANDBY/ON

＜スタンバイにする＞

電源をスタンバイ状態にする

STANDBY/ON ボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

- MD や CD のタイマー再生で、メモリー、ランダム、1 GR モードなどを設定しても、タイマーオン時には通常再生になります。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させる時には、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMER ボタンを押すと動作中のタイマーは解除されます。
- タイマー Rec（録音）中は MUTING 機能が働いて音声がごく小さくなります。音声を聞くには、リモコンの MUTING ボタンを押してください。

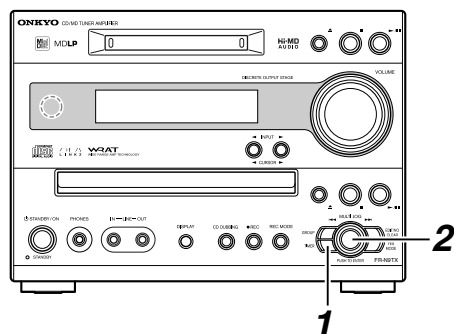
！ヒント

リモコンの TIMER ボタン、⏮/⏭ ボタン、ENTER ボタンでも操作することができます。

タイマー予約をやり直したいときは…TIMER ボタンを押し、最初から設定してください。

タイマー機能を使う

タイマーの On(実行)/Off(取消)を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。

1 TIMER ボタンを（くり返し）押して、設定するタイマー番号を表示させる

タイマー番号が点灯していたら、オン（実行）で設定されている状態です。

2 MULTI JOG ダイヤルを回して、On(実行)/Off(取消)を切り換える

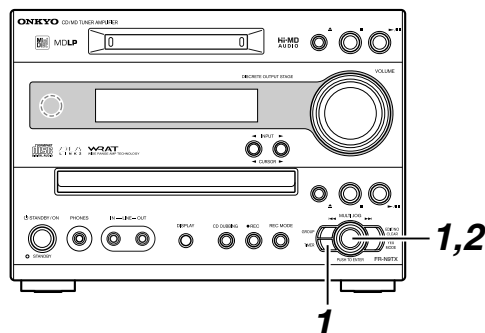
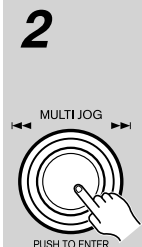
または

Timer Off

切り換えると約 2 秒後にもとの表示に戻ります。

！ヒント

リモコンの TIMER ボタン、⏮/⏭ ボタンでも操作することができます。

タイマー設定の内容を確認するには

1 TIMER ボタンを(くり返し)押して、確認したいタイマーの番号を表示させ、MULTI JOG ダイヤルを押す

2 MULTI JOG ダイヤルを(くり返し)押して、次の内容を確認する

押すたびに次の設定内容が確認できます。

！ヒント

確認中 MULTI JOG ダイヤルを回して設定内容を変更することもできます。

TIMER 設定が Off になっている場合、設定内容を変更すると自動的にタイマー設定が On になります。

すべての項目を確認し、設定に変更がないともとの表示に戻ります。

通常の表示にするには EDIT/NO/CLEAR ボタンを押します。

！ヒント

リモコンの TIMER ボタン、ENTER ボタン、⏮/⏭ ボタン、EDIT/NO/CLEAR ボタンでも操作することができます。

接続した機器の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。

1

INPUT◀/▶ ボタンを（くり返し）押して、名称を変える外部入力を選ぶ

DOCK、TAPE、DIGITAL から選べます。

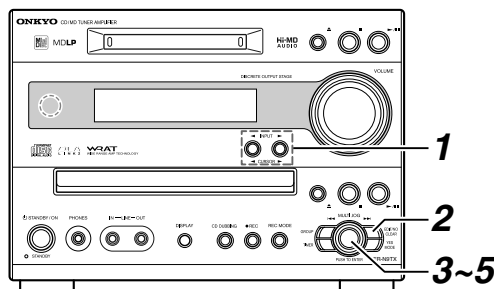
2

EDIT/NO/CLEAR ボタンを押して、「Name Select?」を表示させる

3

MULTI JOG ダイヤルを押す

4

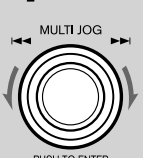
MULTI JOG ダイヤルを回して名称を選ぶ

DIGITAL ⟺ CD-R:dig
⇕ ※1 ⇕
GAME:dig ⟺ PC:dig

変更をやめるときは、EDIT/NO/CLEAR ボタンを押します。

※ 1 UE-205 以外の USB オーディオプロセッサーなどを接続したとき選択します。

5

MULTI JOG ダイヤルを押して決定する

「Complete」が表示された後、通常表示に戻ります。

省略名称表示

本機では入力の表示名称が省略される場合があります。そのような場合は、下の表で確認してください。

名称	省略名称
CD-R	CR
DIGITAL、＊＊：dig	DG
DAT	DT
DOCK	DC
LINE	LI
PC	PC
TAPE	TA
VIDEO	VI

スピーカーの取り扱いについて

D-N9TX スピーカーキャビネットについて

D-N9TX のキャビネットは自然の木材を表面化粧板として使用したリアルウッド突板仕上げです。リアルウッド突板仕上げの製品は、工業製品とは異なり、一つとして同じ木目模様のものはありません。これは、原材料の木の年輪が表面にあらわれているためで、不規則な模様の変化や、濃淡の変化といった個性を持っています。
オンキヨーの製品は、自然が与えてくれる要素をできる限り生かしたいと考えています。このような個性も音楽を再現する道具の一部として味わってください。

D-N9TX を設置する際のご注意

D-N9TX を設置する場合には付属のコルクスペーサーを必ず使用し、塗装部分が、可塑剤（かそざい）*を含む製品に直接接触しないようにご注意ください。D-N9TX の表面を被っている塗装皮膜は、可塑剤を含む製品に長時間接触していると、色移りしたり色落ちすることがあります。
これを「可塑剤の移行」と言い、可塑剤を含む製品に長時間接触することで、その製品に含まれている可塑剤が D-N9TX の塗装膜を軟化させることによって生じる現象です。
滑り止めシートやソファーなどは、製品によって可塑剤が含まれている場合があります。D-N9TX に接触することで色が移ったり、D-N9TX の色が落ちたりするトラブルが起こった場合は保証の対象とはなりません。

*可塑剤とは、ある材料に柔軟性を与えたり、加工しやすくするために添加する物質のことで、主に、塩化ビニール（塩ビ）を中心としたプラスチック製品に用いられます。可塑剤は次のような製品に使用されている場合があります。

- 合成皮革（ソファー、椅子、テーブルクロス、衣類など）
- 滑り止めシート
- 建材（壁紙、床材、天井材など）
- 電線被覆（家電製品のコード、ケーブル類）
- フィルム・シート（雑誌や書籍の表装、機器などに使用しているカバーなど）
- 塗料・接着剤・顔料（ダンボール箱や家具などの合板用）

お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか　ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
付属のスピーカーは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15 分〜 30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

付属のスピーカーのツィーターには強力な磁石を採用していますので、ドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

取り扱い上のご注意

付属のスピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

① FM チューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用 CD などの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について

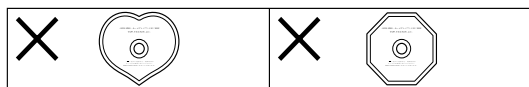
本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約 1 時間放置してからご使用ください。

CDについて

再生上のご注意

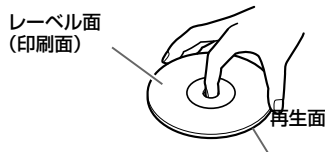
CD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。
パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

※本機は音楽用CDで利用するPCMフォーマットで録音されたCD-R、CD-RWに対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用CDレコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

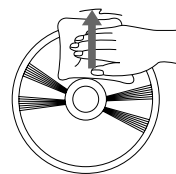
取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

CDのお手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

MDについて

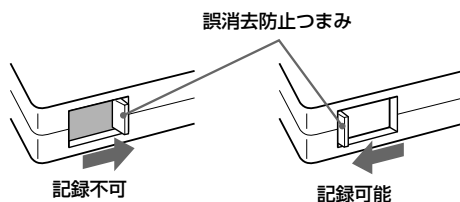
シリアルコピーマネージメントシステム
デジタル入力で録音した MD をさらにデジタル入力録音することはできません。本機はシリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタル AV 機器の間で、デジタル信号どうしのコピーを「1 回だけ」と規制したもので、3 つの原則があります。

原則 1
CD または DAT、MD から MD へ「デジタル入力録音」できます。ただし、1 度「デジタル入力録音」したものを他の MD へ「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則 2
アナログレコードや FM 放送などをアナログ入力録音した MD から、他の MD へ「デジタル入力録音」できます。ただし、1 度「デジタル入力録音」した MD から、他の MD へ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。MD レコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則 3
DAT デッキまたは 32kHz、48kHz のサンプリング周波数に対応する MD レコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も「デジタル入力録音」できます。この場合は、2 回目も「デジタル入力録音」できます。ただし、BS チューナー（衛星放送受信機）によっては、2 回目のデジタル入力録音ができない場合があります。

MD の誤消去防止について

録音用の MD には録音した内容を誤って消さないための誤消去防止つまみがあります。録音を禁止するときは、MD の誤消去防止つまみをずらして、図のように孔が開いた状態にします（記録不可状態）。

MD に録音するときや名前をつけるなどの編集を行うときは、録音用の MD を使用し、記録不可状態を解除しておいてください。

MD の取り扱いについて

MD はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えます。しかし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

内部のディスクに直接触れないでください

ディスクのシャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

直射日光が当たる所など高温の場所や湿度の高い場所、ほこりの多いところ、風通しの悪いところ、大型のエアコンやチカチカする古い蛍光灯など大きな電源ノイズを発生する機器のそばには置かないでください。

長時間使用しないときは

MD が本機の中に入っているときは、ディスクのシャッターが開いた状態になっています。長時間使用しないときは、内部のディスクにほこりがつくのを防ぐため、MD を本機から取り出しておいてください。

定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたほこりやごみを乾いた布でふき取ってください。

お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：
（社）私的録音補償金管理協会
Tel.　03-5353-0336
Fax.　03-5353-0337

MDのシステム上の制約について

MDは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **最大録音可能時間に達していなくても、「Disc Full」が表示される。**

MDは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。Hi-MDモードの場合で2048曲、MDモードの場合で255曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚のMDに分けて録音してください。

- **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。**
  曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。

- **MDへの録音状況によっては、短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**

- **録音方法により曲をつなぐことができない場合がある。**
  編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。

- **MDの状態や録音のしかたによっては、録音可能な残り時間が録音した時間以上に減ることがある。**

- **編集でできた曲で早戻し、早送りを行うと、音が途切れることがある。**

- **曲番が正確につかないことがある。**
  CDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。また、レベルシンクオンで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。

- **「MD Reading」の表示がなかなか消えない。**
  一度も使用していない録音用ディスクを入れると、通常より「MD Reading」が長く表示されます。

- **MDにはHi-MDモードの場合で約55,000文字、MDモードの場合で約1,700文字のネームが入力できます。**
  ただし、グループ機能を使用したり、カタカナを入力すると入力可能文字数はこれより少なくなります。

- **グループ機能の情報は、通常ネームを書きこむエリアに書きこみます。**
  そのため、文字を多く入れると情報を書きこむエリアが少なくなり、グループ編集ができない場合があります。その際は、ネームの文字数を減らすとグループ編集ができることがあります。

MDLP、Hi-MDについて
LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。
PCM、Hi-SP、Hi-LPで録音したディスクは、Hi-MD対応の機器以外では再生できません。

録音時間

動作モード	録音モード	コーデック/ビットレート	ディスクの種類			
			Hi-MD規格専用1GB	80分	74分	60分
Hi-MDモード	PCM	リニアPCM/1.4Mbps	約1時間34分	約28分	約26分	約21分
	Hi-SP	ATRAC3plus/256kbps	約7時間55分	約2時間20分	約2時間10分	約1時間45分
	Hi-LP	ATRAC3plus/64kbps	約34時間	約10時間10分	約9時間25分	約7時間40分
MDモード	SP	ATRAC/292kbps	MDモードでは録音できません。	約80分	約74分	約60分
	LP2	ATRAC3/132kbps		約2時間40分	約2時間28分	約2時間
	LP4	ATRAC3/66kbps		約5時間20分	約4時間56分	約4時間
	MONO			約2時間40分	約2時間28分	約2時間

ディスクに入るトラック数/グループ数/入力文字数

動作モード	ディスクの種類	最大トラック数	最大グループ数	最大入力文字数
Hi-MDモード	Hi-MD規格専用1GB	2047	255	約55,000文字
	80分	2047	255	約55,000文字
MDモード	80分	254	99	約1,700文字

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10 秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中できれる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。**(68 ページ)**
- タイマー再生、録音**(69 ページ)**は終了時刻になるとスタンバイになります。
- STANDBY インジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いています。スピーカーコードのしん線部の+、−が接触していないか確認してください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？**(17 ページ)**
- ボリュームが最小になっていませんか？
- INPUT は正しく選択されているか確認してください。
- “MUTING”と表示されている場合、ミューティング機能が働いていますので、リモコンの MUTING ボタンを押して解除してください。**(36 ページ)**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**(23 ページ)**

音が良くない / 雑音が入る

- スピーカーコードの+ / −が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体の L 端子、右側のスピーカーは R 端子に接続してください。**(17 ページ)**
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中に精密部品がディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。

LINE IN 端子に接続した機器の音声が出ない、MD に録音できない /LINE OUT 端子に接続した機器へ音が出ない

- LINE IN/OUT 端子を逆に接続していませんか？**(22 ページ)**
- PHONES 端子に間違って接続していませんか？

振動で音が途切れる

- 本機は設置タイプで設計されておりますので、できるだけ振動の少ない設置場所でご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない / ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。(清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。)また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。
- となりの LINE IN/OUT 端子に誤って接続していませんか？

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後 10 〜 30 分程度経過した方が音質は安定します。オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

CD/MD に関して

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

ディスクが入らない

- 一度電源プラグを抜いて、もう一度入れてください。
- CD の場合はディスクの置く位置、MD の場合はディスクの方向を確認してください。
- 異なるディスクを使用してみてください。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 何も録音されていないディスクが入っていませんか？録音されているディスクと取り換えてください。
- 結露していると思われる場合は約 1 時間後に操作してください。**(74 ページ)**

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。**(30 ページ)**

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用 CD の再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする / ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る /1 曲目を再生しない / 頭出しに通常よりも時間がかかる / 曲の途中から再生する / 再生できない箇所がある / 再生の途中で停止する / 誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用 CD です。コピーコントロール機能のついた音楽用 CD の中には、CD 規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

FM/AM 放送に関して

放送に雑音が入る /FM ステレオ放送の時、サーというノイズが多い / オートプリセットで放送局が呼び出せない(FM のみ)/FM 放送で“ST”表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。**(18 ページ)**
- アンテナの位置を変えてみてください。**(31 ページ)**
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FM モードをモノラルに変更してみてください。**(34 ページ)**

- AM 受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも電波が悪い時は市販の室内アンテナまたは、屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- メモリーは通常消えることはありません。万一、登録したラジオの放送局が消えてしまった場合は、再度登録を行ってください。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定してください。

ラジオの周波数を調整できない

- リモコンのみの操作になります。リモコンの ◀◀/ ▶▶ ボタンを押して調整してください。(31 ページ)

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（+、−）が、表示通り正しく入っているか確認してください。(9 ページ)
- 電池を 2 本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

外部機器との接続に関して

録音ができない

- デジタル録音するには再生機器のデジタル出力を本機の DIGITAL IN 端子に接続する必要があります。接続が正しいか確認してください。(21 ページ)

オンキヨー製外部機器とのシステム動作が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。
  (20、21 ページ)
  RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。
- 外部入力機器の表示名称を設定してください。
  (73 ページ)

「D.In Unlock」が表示された /DIGITAL 表示が点滅している

- 光デジタルケーブルの接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

接続した機器の音が出ない

- 光デジタルケーブルが折れ曲がったり損傷していませんか?
- 本機は PCM 信号にしか対応していないのでデジタル出力を PCM に設定してください。

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

レコードプレーヤーが再生できない

- MC カートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

時刻、タイマー再生・録音に関して

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？
  時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。
  (66 ページ)
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーが開始しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。
  (71 ページ)
- タイマー予約の時間が重なっているとはたらかないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。
  (67 ページ)
- タイマー再生は適切な音量に調節しておいてください。
  (71 ページ 手順 *8*)
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。(20、21、73 ページ)
- タイマー録音するには録音可能な MD をセットしておく必要があります。また、本機 MD にタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので、録音開始時刻を 1 分程早めに設定してください。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- スタンバイ時の時刻表時を「あり」に設定してください。(66 ページ)

MD の録音 / 編集に関して

MD の録音、編集（名前をつける、消去する、等）の情報は MD を取り出す時やスタンバイ状態になるときに、MD の目次部分（TOC）に書きこまれます。TOC 表示が点灯、点滅している時は電源プラグを抜いたり本体を揺らしたりしないでください。

録音ができない

「Cannot Rec」と表示される
- 再生用の MD です。録音用と交換してください。
- DVD の音源をデジタル信号のまま録音することはできません。
- デジタル入力録音された CD-R などは、シリアルコピーマネジメントシステムにより録音できません。

「Protected」と表示される
- MD が記録不可状態になっています、誤消去防止つまみをずらして解除してください。

「Disc Full」と表示される
- MD に録音の空きがありません、新しい MD と交換してください。

「Retry Error」と表示された
- いったん MD を取り出して、再度録音しなおしてください。頻繁に表示される場合は、修理窓口にご連絡ください。
- ディスクの残り時間が 48 秒以下の場合、録音ができない場合があります。

デジタル機器から外部録音しようとしたら「D.In Unlock」と表示される

- オーディオ用デジタルケーブルを正しく接続してください。

録音レベルが小さい / 音が歪む

- 録音レベルを調整してください。(48 ページ)

「CD ダビング」ができない（デジタル録音された CD-R は、CD ダビングなどのデジタル録音はできません。）

- 「Peak（ピーク） Search（サーチ）」と点滅している場合は、音量を自動補正する DLA リンク機能が働いています。点滅後、ダビングを開始しますのでお待ちください。
  (DLA リンク設定 ☞47 ページ)

「CD Dub Fail」と表示される。
- MD部が動作中です。しばらく待ってからもう一度CDダビングを行ってください。
- CDがランダム再生モードになっているとCDダビングできません。通常再生に戻してください。

「CD倍速ダビング」ができない。
- CDがメモリー、ランダム再生モードになっているとCD倍速ダビングは働きません。通常の再生モードに戻してください。
  また、MDモードの場合、倍速ダビング開始後、同じCDを74分以内に倍速ダビングすることはできません。**(41ページ)**

「CD倍速ダビング」で音とびがする
- CD倍速ダビングはディスクの汚れ等の影響を受けやすくなります。
  音とび、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

「シンクロ録音」ができない
- 表示部に「MD Reading」が表示されている間はシンクロ録音を開始することができません。しばらく待ってから操作してください。

録音すると必ずグループができる
- グループ録音の設定が「オン」になっています。「グループ録音」の設定を「オフ」にしてください。**(46ページ)**

録音した曲の始めの数秒が途切れる
- 入力を「MD」にしたとき、「Reading（リーディング）」と表示されている場合は、MDの読み込みを行っています。MDの読み込みには数十秒かかります。MDの読み込みが完了してから、録音を開始してください。

録音時、瞬間的にノイズが発生する
- MDモードのLP4モード録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によってごくまれに瞬間的なノイズが発生します。SPモードまたはLP2モードでの録音をお試しください。

ディスクに記載の録音時間が、すでに録音した時間と残録音時間の合計と一致しない
- ディスクの録音箇所には一定の範囲（時間）単位での録音がされるために、くり返しの編集や削除などにより、録音時間が減少する場合があります。

MDの読み込み（MD Reading（リーディング））が遅い
- 本機はHi-MD、MD対応のため、読み込みに最大で60秒程度かかります。

録音したディスクを再生すると音が小さい / 大きい
- 録音レベルを調整してください。**(48ページ)**

名前がつけられない
- 録音用のMDを使用してください。MDの誤消去防止つまみが開いて録音不可状態になっている場合は、誤消去防止つまみを閉じて解除してください。**(76ページ)**
- メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると名前はつけられません。通常の再生モードに戻してください。**(30ページ)**

すでに何曲か録音してあるMDなのに録音を開始すると1Trからになる
- グループ録音設定がオンになっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1Trと表示されます。

グループ録音設定をオンにしているのにグループにならない
- トラック指定CDダビングのときはグループになりません。また、シンクロ録音のときは、MDの■（ストップ）ボタンを押すとそこでグループが終わります。

たくさんの曲数に分割して録音されてしまう
- ラジオ、レコード等から録音する場合、無音部分を検出して曲数がたくさん付く場合があります。録音レベルを上げても改善しない場合はレベルシンク機能をOFFにしてください。

曲番が付かない
- 無音部分が短いと曲番がつかない場合があります。

本機で録音したMDが本機以外のプレーヤーで再生できない
- LP2やLP4（MDLPモード）を使って録音したMDはMDLP対応機器でないと再生できません。お持ちの機器がMDLP対応か確認してください。
  初期化するときにHi-MDフォーマットをしたMDはHi-MD対応機器でないと再生できません。お持ちの機器がHi-MD対応か確認してください。

今お持ちのMDをHi-MDモードにしたい
- Hi-MDモードに初期化します。既に録音されている曲はすべて削除されます。**(38ページ)**

MDの編集ができない
- MDは録音用を使用し、録音不可状態は誤消去防止つまみをずらして解除してください。**(76ページ)**
- メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると編集できません。通常の再生モードに戻してください。**(30ページ)**
- デジタル録音した曲とアナログ録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。**(61ページ)**
- また、異なる録音モードで録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。（LP2とLP4など）**(61ページ)**

録音後、停電になった

TOC表示が点灯、点滅中に停電になった場合は、停電前の記録内容は消去されます。また誤って電源コードを抜いた場合も消去されます。

その他

ディスクが熱くなる
- 外気温や動作状態にもよりますが、本機によってディスクが熱くなることがありますが、故障ではありません。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのような時は、電源プラグを抜いて約10秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。

すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

1. **YES（イエス）/MODE（モード）ボタンを押しながら**
2. **STANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタンを押します。**
   表示部に「Clear（クリア）」と表示されたあと、スタンバイ状態になります。

メッセージ一覧

ご使用の状況により、メッセージが表示されます。
意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
MD Blank Disc	曲もディスク名も記録されていない録音用MDが入っている。
Audio Error	パソコン用音声信号が入っているディスク。他のディスクを使用するか、フォーマットしてください。
Cannot Copy	MDの制限により、デジタル録音できない状態になっている(「シリアルコピーマネージメントシステムについて」、76ページ参照)。
Cannot Edit	編集できないMDで編集しようとした。
Cannot Rec	再生専用MDに録音しようとした。 デジタルで録音したCD-Rをデジタル録音しようとした。
CD Dub Fail	CDダビングを起動できなかった。
Complete	編集が完了した。
Cannot Read	異常な(損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。または、Hi-MDオーディオとして対応していないフォーマットのため、読み込みできない。他のディスクを入れてください。
Disc Full	MDの録音可能部分がないため、録音できない(「MDのシステム上の制約について」、77ページ参照)。
D. In Unlock	デジタル入力に接続されていない。デジタル接続を確認してください。
DLA Link Off	DLA Link Off設定では、設定を変更できません。 DLA LinkをOnに設定してください。(47ページ参照)
Error	カナネーム入力時に入力できない組み合わせを行った。例:ア゛
Full	ネーム入力中に文字数が最大値に達した。
Impossible	MDシステム制約上以外の原因で編集の不可能な操作をした。
MD Writing	MDへの書き込み中
Mecha Error	MDメカに異常が発生した。故障の可能性がありますので、お近くのオンキヨー修理窓口にお問い合わせください。
Memory Full	25曲を越えてメモリーしようとした。 または、チューナーで30局を越えてメモリーしようとした。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
CD/MD No Disc	ディスクが入っていない。(CD、MD)
Protected	MDが記録不可状態になっている。

メッセージ	意味
Read Error	ディスクを正しく読めなかった。ディスクを入れ直してください。
Retry Error	録音中、振動やMDに傷がいくつもあったため、記録し直しが連続し正常に記録できない。 ディスクを交換してください。
Recording	録音中にできない操作をした。
Signal Wait	MDがシグナルウエイト状態になった。
Time Protect	CD倍速ダビング終了後、同じCDを74分以内にCD倍速ダビングしようとした。
TOC Error	TOC情報がおかしいため、MDの読み取りや書き込みに失敗した。他のディスクを入れてください。 それでも失敗する場合は、ディスクをフォーマットし直してください。

主な仕様

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

本体部

■総合

電源・電圧　AC 100V、50/60Hz
消費電力　50W（FR-N9TX）、46W（FR-N7TX）
待機時電力　0.1W
最大外形寸法　205(幅)×147(高さ)× 339(奥行)mm
質量　4.7kg
音声入力　デジタル　1（光）
　アナログ　LINE、TAPE、DOCK
音声出力　デジタル　1（光）（FR-N9TX のみ）
　アナログ　LINE、TAPE、DOCK
　サブウーファープリアウト　1
　スピーカー　2
　ヘッドホン　1

■アンプ部

定格出力（FR-N9TX）　14W ＋ 14W（8 Ω、40Hz ～ 20kHz、全高調波歪率 0.4% 以下、2ch 駆動時）
19W ＋ 19W（4 Ω、1kHz、全高調波歪率 0.4% 以下、2ch 駆動時）
定格出力（FR-N7TX）　10W ＋ 10W（8 Ω、40Hz ～ 20kHz、全高調波歪率 0.4% 以下、2ch 駆動時）
15W ＋ 15W（4 Ω、1kHz、全高調波歪率 0.4% 以下、2ch 駆動時）
実用最大出力（FR-N9TX）　26W ＋ 26W（4 Ω JEITA）
実用最大出力（FR-N7TX）　20W ＋ 20W（4 Ω JEITA）
全高調波歪率　0.4 %（1kHz 定格出力時）
0.4 %（40Hz ～ 20kHz 定格出力時）

ダンピングファクター　25（8 Ω）
入力感度 / インピーダンス　150mV/50kΩ（TAPE）
150mV/24kΩ（LINE）
出力電圧 / インピーダンス　150mV/2.2kΩ（REC OUT）
周波数特性　10Hz ～ 100kHz/ ± 3dB（TAPE）
トーンコントロール最大変化量
± 6dB、80Hz（BASS）
± 8dB、10kHz（TREBLE）
＋ 7dB、80Hz（S.BASS）
SN 比　100dB（LINE,IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス　4 Ω～ 16 Ω

■チューナー部

受信範囲〈FM〉76.0MHz ～ 90.0MHz、VHF 1ch、2ch、3ch ＊
〈AM〉522kHz ～ 1629kHz
プリセット数　FM/AM 合計 30 局

＊ 地上アナログテレビ放送終了後は、VHF1ch、2ch、3ch の音声を聞くことはできなくなります。

■ CD 部

周波数特性　10Hz ～ 20kHz
ダイナミックレンジ　95dB
全高調波歪率　0.007%
ワウ・フラッター　測定限界以下（± 0.001% W.PEAK）
音声出力電圧 / インピーダンス
− 22.5dBm（光デジタル出力）
1.3V（rms）/2.2kΩ（アナログ出力）

■ MD 部

録音可能サンプリング周波数
32, 44.1, 48kHz（外部デジタル入力時）
44.1kHz（内部 CD デジタルダビング時）
再生サンプリング周波数　44.1kHz
録音・再生時間
最長 34 時間 08 分 1GB Hi-MD ディスク使用・Hi-LP モード
周波数特性（デジタル音声）10Hz ～ 20kHz
ダイナミックレンジ　95dB
出力電圧 / インピーダンス
1.3V（rms）/2.2kΩ（アナログ出力）

スピーカー部

■ D-N9TX

形式　2 ウェイバスレフ型
定格インピーダンス　4 Ω
最大入力　70W
定格感度レベル　83dB/W/m
定格周波数範囲　45Hz ～ 100kHz
クロスオーバー周波数　6kHz
キャビネット内容積　8.1 リットル
最大外形寸法　167(幅)× 299(高さ)× 259(奥行)mm（サランネット、ターミナル突起部含む）
質量　4.1kg
使用スピーカー
　ウーファー　13cm A-OMF MONOCOQUE 型
　ツィーター　3cm リング型
ターミナル　プッシュ式スピーカーターミナル
防磁設計　有
付属品　コルクスペーサー 8 個、スピーカーコード 1.8 m× 2
その他　サランネット脱着可　左右同一型

■ D-N7TX

形式　2 ウェイバスレフ型
定格インピーダンス　4 Ω
最大入力　70W
定格感度レベル　83dB/W/m
定格周波数範囲　50Hz ～ 100kHz
クロスオーバー周波数　6kHz
キャビネット内容積　8.0 リットル
最大外形寸法　164(幅)× 282(高さ)× 258(奥行)mm（サランネット、ターミナル突起部含む）
質量　3.7kg
使用スピーカー
　ウーファー　13cm A-OMF MONOCOQUE 型
　ツィーター　3cm リング型
ターミナル　プッシュ式スピーカーターミナル
防磁設計　有
付属品　コルクスペーサー 8 個、スピーカーコード 1.8 m× 2
その他　サランネット脱着可　左右同一型

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 FR-N9TX または X-N9TX または X-N7TX
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。